

「第8次旭川市総合計画 基本計画（案）」にお寄せいただいた御意見と旭川市の考え方

募集期間 平成27年10月19日（月）～平成27年11月18日（水）

意見提出者 8人

※御意見につきましては、原文のとおりとしていますが、一部読みやすくするため修正等を行っています。

No.	御意見	市の考え方
1	<p>旭川食べマルシェ大成功 平成27年9月19日より4日間</p> <p>この度の旭川食べマルシェ大成功でした。このように大成功の盛大な催しを沢山行う事が、旭川の発展につながる事でしょう。これから、もっと、もっと、大きな食べマルシェにして、世界の人々に、旭川観光に、来て戴くように心がけていきたいと思ひます。私はその為に次のように考えました。この食べマルシェを毎年4回の季節に行い、春・夏・秋・冬と、それぞれの、季節に合わせた料理。また、世界の外国人の方々も、参加して戴き、北海道一の食べマルシェにしたいと思ひました。外国人の方々の参加が出来れば、世界の観光客が、沢山来まして、盛り上がることになりましよう。それと、旭川の素晴らしい地形のよさ、災害のない町、観光に適した山に囲まれた盆地の眺めや景色、のどかな生活と、広い、広い、緑の楽園、北海道の真ん中の観光地としての魅力などなど、これらを観光客の方々が見ましたら、旭川に住みたくなりますね。外国の観光客や、日本の観光客の方々が、旭川のよさを感じましたら外国観光客や、地方の観光客の方々が、旭川に、未来の旭川発展に、先駆けてレストラン、食堂など。観光ホテル、世界の高級デパート、世界のお祭りイベントなどなど、沢山出来て、旭川の発展につながる事になりますね。どうか、このように発展させたいのでございますから、みなさんで、よくなる事を進めて行きましよう。私達市民も、旭川の発展になる事がありましたら、お手伝いして行きたいと思ひます。どうぞ、よろしくおねがい致します。まずは、私の考えをお伝えいたしました。ありがとうございました。以上でございます。</p>	<p>第8次旭川市総合計画基本計画（案）では、基本政策7「温かなまちの賑わいと国内外の多様な交流の創出」において、本市の様々な魅力を広く発信し、新たな人の流れを作り出し、まちが人を呼ぶ温かな賑わいづくりを進めるとしております。</p> <p>御意見にありますとおり、今年で6回目を迎えました「北の恵み 食べマルシェ」につきまして、今年は秋のシルバーウィークの5日間の開催とし、各地から120万人以上の御来場をいただきました。</p> <p>食べマルシェでは、本市をはじめ道北地域の自治体、南さつ市市などの交流都市からも出店いただいておりますが、豊かな自然に囲まれた本市の地域資源であります農畜産物やそれを生かした食のほか、各地の名物や自慢の料理など「食」の魅力を広くお伝えするイベントとして、今後も引き続き開催していきたいと考えております。</p> <p>なお、御意見にありました春・夏・秋・冬の各季節での食べマルシェの開催につきまして、食べマルシェは規模も大きいことから、9月の開催に向けて企画内容の検討や出店者の募集など春から準備をしておりますことから、各季節での開催は難しいものですが、今後も魅力的なイベントとなるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p>
2	<p>夢構想論 北海道一の旭川都を作る仲間達 未来の科学者を目指す子供や若者達よ マンガを作ろう若者よ。子供達・若者達よ・この夢構想のマンガの本を作ってみんなに見せましようよ。マンガ本を作った君達は。歴史に残る、有名人になれるよ。楽しみながら、本作ろうよ。皆で考えようこの夢構想 若者集まれー未来の科学者を目指す、子供・孫・曾孫・若者達よ。君達も、この夢の構想に参加して、君達の名前を何百年何千年後の歴史に残るように、この構想の文書に書き残しませんか。きっと未来には、君達の名前が、世界の歴史に残る事でしょう。それでは始めましよう。若者達・お役人様・政治家・観光事業様・商業事業様・皆様も、考えて歴史に名前を残ましよう。よろしくおねがい致します。</p> <p>夢の構想旭川都を平成元年に考えました。この構想を旭川の子供達や若者達の仲間で未来の科学者を目指して考えることにしています。私と未来の科学者の君達と進めて行きましよう。まずは模型を作る事からスタートいたしましよう。若者の考えを自由に取入れてください。それではスタートに入らましよう。それではよろしくお願ひいたします。</p> <p>北海道一の旭川都・模型作りの仲間達未来の科学者を</p>	<p>第8次旭川市総合計画基本計画（案）では、基本政策4「次代の担い手が、生き生きと学ぶ教育の推進」において、次代を担う子どもたちが、社会の変化に対応しながら自立して生きていく力を培うための教育を推進するとしております。</p> <p>いただきました御意見は、まちづくりを担う子どもたちに向けたメッセージであると受け止めており、子どもたちが将来に希望を持ち、健やかに成長できるよう今後とも健全育成や教育の推進に取り組んでまいりたいと考えております。</p>

	<p>目指す子供や若者達で旭川都の模型を作ろう。子供や若者達よ。夢の構想旭川都の模型を作り、何十年、何百年後に、こんな旭川都になってほしいと、子孫に模型を残してあげませんか。その模型を見た、子や、孫、曾孫達は、それを参考にして、立派な、旭川都を作り上げてくれる事でしょう。模型ができましたら、公民館や、科学館、観光施設、デパートなどに展示して頂きましょう。この模型を作成したという、皆さんの名前は、未来までも歴史に残る事になります。皆さんの作ったこの模型も歴史に残ります。楽しみながら、作って行きましょうね。楽しみですね、何年後に、この夢構想が、出来るか、楽しみですね。私達の、昭和の時代平成の時代、まだまだ先のことになりますね、どんなに長くたっても何時かは必ずできる事と願っています。北海道一の旭川の都が出来た時は、生まれ変わって、見に来ますよ。よろしくね。未来の科学者、政治家を目指す、子供達や若者達よ、出来た時は生まれ変わって、見に来て完成祝いの、世界一大きなお祭りのお祝いをしましょうね。お祝い祭りをしましょうね。それでは、みなさん、模型作り、楽しく、楽しく、頑張ってください。ソレソレソレー</p> <p>●お願いと注意がございます。この構想は、私が平成元年に50部作り仲間に差し上げました。その後いろいろな部分を訂正して、このように作りました。この後も、まだまだよく考えて行く心得でいます。その為、この作文を私以外の人がまねをして作ることは、著作権の問題になりますので、絶対にまねをして作らないようにしてください。そのようなことが起きましたら、著作権の問題になります。以上です。</p>	
3	<p>未来の都旭川夢構想論 1 もくじ、2 作者の構想論、3 子供達からのお願い、4 生活子供仲間達、5 世界観光客の遊び場ランド、6 川を利用して湖を作る、7 環状線モノレールを走らせる、8 旭川都中心に北海道一テレビ塔を作る、9 旭川都第一大雪城を作る、10 国際空港世界に飛ばす、11 ハイウェイドライブコース、12 命の宝湧水感謝、新幹線を通す、14 冬のオリンピックを行なう、15 世界サッカーの競技場をつくる、16 北海道一の大通り公園作る、17 停滞観光都市にする、18 旭川福祉村、19 都中心に5万人お祭り広場を作る、20 湖の回りは観光ホテルでうめる、21 世界の美術館、22 ドームを作る。その他まだまだたくさん構想が出て来ると思っています。将来の子供達の、考えを取り入れることに致しましょう。夢は大きく、宇宙時代の仲間入りです。宇宙には、生物生存の、地球が沢山あります。その宇宙の仲間入りが始まっています。日本の子供達よ、世界一の日本が、今はどこへ消えてしまったのだろう。このままでは、日本国が消えてしまいますよ。だから、将来の、日本の子供達で、宇宙の仲間に入るように、構想を考えましょう。夢は大きく、努力は成功、まずは旭川都の構想から、考えてみましょう。旭川子供達は、どこまで構想が出来るか楽しみです。●ではもくじの説明を致します。</p>	<p>いただきました御意見は、将来の旭川に向けた夢のあるアイデアと受け止めております。</p> <p>第8次旭川市総合計画では、目指す都市像を「世界にきらめく いきいき旭川 ～笑顔と自然あふれる 北の拠点～」としており、旭川の魅力を国内はもとより世界へと発信し、国内外の多くの人に来ていただき、賑わいとまちの活性化につなげてまいりたいと考えております。</p>
4	<p>●世界観光客の遊び場ランド 世界の観光客の遊び場5万人の広場を作り毎日、世界の遊びのイベントを見せるにぎやかな場所にする ●川を利用して湖をつくる 旭川は川の町ですので、大きな湖を3ヶ所作り、釣堀、遊覧船、水遊び、ボートレース、夜の花火、湖の回りを、沢山のホテルで囲み、観光客に湖の遊びを沢山楽しんで</p>	<p>観光客の誘致につきましては、全国的な人気となっております旭山動物園のほか、多くの観光スポットなどを生かした取組を進めてきております。また、良質なパウダースノーや豊かな自然、食など、本市には多くの魅力があり、今後ともそれらの魅力を磨き上げるとともに、広域での連携を深め、国内外のニーズに対応した四季を通じて楽しめる滞在交流型観光の確立に取り組んでい</p>

もらい、夜の旭川自慢のおいしい食事を囲んで大宴会を楽しんで頂きます。1の湖は亀吉町の川の合流の場所・2の湖は東海大学と嵐山の石狩川の根元です。3は永山新川白鳥が来るところです。このように旭川は川で栄えた町、川の為に動物園が育ち豊かになった町です。だから湖を沢山作り、動物園の樂園にと考えたのです。

●環状線モノレールを走らせる、●ハイウェードライブコース、●サイクリングロード

旭川は、回りが小高い山に囲まれた盆地ですので、東神楽、当麻、鷹栖、春光台、旭岡、台場、東神楽飛行場と、一回りの環状線モノレール鉄道を作り、環状線の回りに、観光ホテルを沢山作り、公園や、遊び場、動物園、牧場焼肉レストラン、ひつじ公園ジンギスカンレストラン、動物と遊ぶドンクランド、鹿公園鹿肉レストラン、ラベンダー公園、バラ公園、つつじ公園、桜公園、陶芸の里、北海道一動物園、北海道一福祉村、芝桜公園、その他の沢山のフラワーランド、遊び場などなど、沢山つくり、観光客の方々が、今日はこの遊び場、明日はあそこの遊び場、次はこの遊び場と、代えながら、二泊、三泊、四泊と、日本一のおいしい料理で過ごして頂きまして、旭川に滞在して、長く楽しめるような、都にしたいと思うのです。

●旭川都中心に北海道一テレビ塔作る

旭川は盆地のため、朝の太陽の上りや、夕暮れの太陽のかくれ時などの、景色や、山々の春、夏、秋、冬の景色、中心部の町の朝昼夜の景色などなどこれらの、見事な眺めを世界の観光客様に、みせてあげられるような、高いテレビ塔を作りたいものと考えました。どこの都市でも、テレビ塔はありますが、旭川の盆地の眺めのような素敵ところは、他にありません。だからこそ、北海道一の都が出来るのです。東京や大阪、その他の大都市でも、丸く山に囲まれて盆地はありませんね。旭川は毎日違う景色が見られます。このような良い旭川を旭川市民、旭川政治家、北海道政治家、北海道知事様にも相談して作りたいものですね。皆様の有志の方々いろいろ考えて進んでゆきましょう。

●旭川都第一大雪城をつくる

次は、テレビ塔の他に、ホテルのお城を計画しました。これも、旭川の町並みや、山々などを、ホテルの中から、毎日違う景色などの楽しみを味わってもらいたいと思うものです。外に出なくても、見られるように考えました。3つの城を考えました。1は、富沢の一番高い山の上、2は亀吉の湖の真ん中に島をつくり、そこに乙女の結婚式場とホテルの城を作り、外国の観光客に結婚式をして戴くように考えてみました。3は旭川の町、大雪山の眺め、朝日の上がる景色、朝から晩まで、東、南、西と日が当たる旭川で一番の空気のよさ、旭川の町が、我が家の庭のような景色に見える場所、それは旭岡三丁目の山の上です。西イオンショッピングモールの上です。北方野草園の観光の場所です。ここは旭川の歴史の博物館とした城にする事にしました。世界の博物館としても使う事のできる城にします。

●命の宝湧水感謝

これは、北海道の大きな山、大雪山から湧き出る宝の水です。この湧水が川となり、旭川を流れて石狩川となり、北海道の動脈となり、石狩湾に流れて行くのです。この北海道の動脈である石狩川に、沢山の市町村が出来、動植物の命を守り宝の泉と人類の生活を守って戴いている大事な宝の水なのです。その水が、健康にとても

きたいと考えております。

	<p>よく、沢山の人々が、命を守る宝の水として愛用しているのです。その宝の水を、世界の観光客に、飲んで戴き、世界にこの水を販売していくことを考えているのです。宝の水を飲むために、外国観光客の方々が、何度も旭川にきて戴きたいと思うのです。</p>	
5	<p>●国際空港世界に飛ばす これは、旭川は北海道のど真ん中です。ここに国際空港を作り、全ての外国観光客の国際空港にする事を考えました。旭川に来て、旭川のホテルに泊まり、楽しんで戴くことにするのです。そして旭川の良さを何日も楽しんで戴くことを考えているのです。そうすると、おのずと停滞観光になると思うのです。観光客の方々が、何日も旭川に泊まり楽しむことは、旭川の停滞観光になるものです。だからこそ国際空港を作りたいのです。旭川よさを知ってもらい、また旭川に来たいと思うようになってほしいものと考えてみました。</p> <p>●新幹線を通す いよいよ新幹線です。すでに札幌までの計画が進んでいます。次はすぐに旭川までの計画を入れてもらうことですね。それも今すぐに、旭川までの計画を作り、今から市民全部で要望をすることです。何事にも声を上げることが成功につながるものです。新幹線は、広々とした場所に作り、その回りを世界の観光客の遊び場にするのです。永山、当麻、東旭川などの広い場所がよいと思います。さあみなさん、上川市町村のお役人・政治家・議会議員・観光事業家・全ての方々、今すぐに取りかかることを考えましょう。</p>	<p>第8次旭川市総合計画基本計画(案)では、基本政策7「温かなまちの賑わいと国内外の多様な交流の創出」において、本市の様々な魅力を広く発信し、新たな人の流れを作り出し、まちが人を呼ぶ温かな賑わいづくりを進めるとしております。</p> <p>さらに、基本政策7の施策2「まちの機能強化と国際化の推進」では、市民の生活の足として、また、本市を訪れる方々の移動手段として、空港などの利便性の高い交通体系の充実に取り組み、まちの機能強化を図ることとしております。</p> <p>御意見にありますように、旭川空港は、現在、関東、中部、関西への国内線のほか、中国、韓国、台湾への海外定期便が就航しており、乗降客数は、平成24年の4万人に対して、平成26年度では、16万人と大幅に増加しております。今後におきましては、空港機能の充実やその他の公共交通との連携促進などを進め、利便性の向上を図るとともに、国内外との様々な交流を広げていきたいと考えております。</p>
6	<p>●冬のオリンピック行う これも、北海道一雪質のよいところ、気候も天候もよく、観光客の滞在ホテルも完備され、ゆっくり楽しみながら、オリンピックが出来るものと考えました。世界の選手の方々が、観光を兼ねて、楽しむオリンピックにしようと思うものです。この北海道一雪質のよいところ、気候も天候も、よいところ、なんどでも、旭川に来たいと思うような楽しみかたを知って戴きたいと思うのです。これもみなさんで考えていきましょうね。</p> <p>●世界サッカーの競技場をつくる これも、北海道一の都の旭川の景色を見ながらの大会、毎日選手の方々の疲れと、心の休める空気を沢山吸う大会、きっと、きっと、世界の選手の方々は何度も旭川を訪れる事になる事でしょう。だからサッカー場を作ることにしたのです。</p>	<p>スポーツの振興につきましては、スポーツや運動に取り組む機会の創出などの環境づくりや市民意識の醸成が重要であると考えており、これまでもハーフマラソンやバーサーロペットの開催をはじめ、市民体育の日や伊ノ沢遊び体験などのイベントの実施、総合型地域スポーツクラブの活動支援のほか、スポーツ施設の整備などに取り組んでいるところであります。</p> <p>また、各種スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致によって、競技力の向上だけでなく地域経済の活性化にもつながることから、それらの誘致に取り組んでいるところであります。</p> <p>第8次旭川市総合計画基本計画(案)では、基本政策5「スポーツや文化に親しみ、学びを深める環境づくり」でお示ししておりますように、今後とも多くの市民がスポーツに親しめる環境の整備や各種大会・合宿等の誘致に取り組んでまいります。</p>
7	<p>●北海道一の大通り公園作る これも、なぜ札幌にあって旭川にないのでしょうか。いままで、札幌のよさを旭川の役所で、だれも、まねをすると言う人がいなかったのでしょうか。他のよいところは、すぐにまねをして行くことが一番の早道ですよ。旭川も日本一の動物園を作りましたが、一年もたたない内に、よそにまねされ、今ではどうでしょうか。今の旭山動物園は赤字になり、これ以上よくなる事が出来るのでしょうか。だから、よいところを旭川の役人もすぐにまねをするものではないでしょうか。皆さんはどのように思いますか。考える人はいないのですね。残念なことです。</p> <p>●停滞観光都市にする これは、どうしても、観光客の方々に、旭川に何泊も、とどまる、楽しみの場所を作ることが一番のよいことですね。いままで話した、都を早くつくらなければ、夕張</p>	<p>観光客の誘致につきましては、全国的な人気となっております旭山動物園のほか、多くの観光スポットなどを生かした取組を進めてきております。また、良質なパウダースノーや豊かな自然、食など、本市には多くの魅力があり、今後ともそれらの魅力を磨き上げるとともに、広域での連携を深め、国内外のニーズに対応した四季を通じて楽しめる滞在交流型観光の確立に取り組んでいきたいと考えております。併せて、本市に集積している医療や福祉の機能などを生かし、交流人口の増加に向けた取組を進めていきたいと考えております。</p>

	<p>のような都市になりますよ。それでも、旭川の役人の方々はよいのでしょうか。役人の方々に聞くとだれしもが、旭川をよくする事を考えていますと言います。ところがその人達は、なにをしたのでしょうか。話すことは誰でもできます。それではだめなのです。話したらその人達が、実行をして行くことですよ。口だけでは、今に夕張のようになりますね。頼みますよ。お役人様。</p> <p>●旭川福祉村</p> <p>ここは北海道で、一番住みよいところですので、福祉村がよいと思うのです。災害もなく、気候もよく、空気もよい。だから福祉村を大きくして、人生の最後の楽しみをできるように考えていくことではないでしょうか。</p> <p>●都中心に5万人お祭り広場を作る</p> <p>これは、世界の観光客の方々に、遊び場として、毎日自由にお祭り遊びを行って戴きたいと思うのです。若者達の歌や演奏、クラシック演奏。高級劇団などなど楽しみのお祭り広場です。</p> <p>●湖の回りは観光ホテルでうめる</p> <p>これは、旭川の町は川の町・川を大事に湖の町・湖で遊ぶ観光客・回りのホテルから眺めの景色・楽しい楽しい旭川観光・ゆっくり休めるひと時の眠り・朝の空気の命の宝・湖、散歩でおいしい空気・今度も来るぞと期待をこめて、帰りの土産の大荷物・観光ホテルに手を振って、ホテルのみなさん手を振って・観光客と抱き合った・・・また来るようーありがとうーありがとうーありがとうーと送りました。</p> <p>●世界の美術館</p> <p>この美術館のよさは、世界にお土産の日本のよさをお届けする物をたくさん作っています。世界の観光客の皆様、ここでたくさんのおみやげをお買い上げ下さい。何度もきて楽しんでくださいねと、みなさんと握手していました。</p> <p>●ドームを作る</p> <p>これも旭川にも作ります。雪や雨の為、いつでも、競技や、イベントが出来るように、春・夏・秋・冬と何時でも旭川にきて戴くために作るのです。これも旭川の役人の方々はどのように思っているのでしょうか。今まで議会の方々、政治家の方々、役人の方々から、旭川をよくするという言葉をお聞きすることはありません。話す人もいますが、なにもよくなっていませんね。今でも、人口過疎になっています。話すだけではなく、実行をして行きましょう。私達も頑張りますので、お役人様や、議員様、政治家様達と考えて進みましょう。誰が実行できるか、これからを見てゆきましょう。何年かかるか分かりませんが、未来の子供達に伝えていきましょう。よろしくお願い致します。</p>	
8	<p>旭川の発展は観光客の呼べる都に</p> <p>夢構想の考えは、発展して行く為に、一番大事なのは、外国からの観光客を呼ぶことです。観光客を呼べないことでは、絶対によくなりません。この事は誰でも分かっていることだと思います。観光客を旭川に呼び、旭川のホテルで、二泊、三泊と長く楽しんでもらうことです。外国の観光客様に、旭川からのおみやげを沢山買って戴くことです。それが出来ないから、町は店閉じることになり、シャッターが下りた状態になるのです。それを第一に考えて進まなければ、ならない事でしょう。みなさんはどのように思いますか。そんな事はないと思う人は、よくなる事をやって見せて下さい。言葉だけではなんの役にもたちませんよ。やって見せてその人の人柄を見せ</p>	<p>観光客の誘致に当たりましては、御意見にありますように、受け入れる側の環境づくりも重要であると考えており、今後とも観光関連事業者をはじめ、関係者との連携を密にし、観光振興に取り組んでまいりたいと考えております。</p>

てください。私は、今からでも、すぐに外国観光客様を呼べるような取り組みをすることと思うのです。それには、旭川の観光事業者、商店事業者、旭川市を取り巻く全ての事業者様方が、外国観光客様を呼べるような取り組みに進む事ではないでしょうか。業者だけでは、できませんね。だから、旭川のお役人様・政治家様・北海道議会様、大臣様方々に、要望をして行くことが必要と思うのです。要望をしても、なにもならないと言う人もいるでしょう。それでも、何度も要望をすることではないでしょうか。今年になって、駅前開発が終わり、市民も喜んでいそうですね。あれだけの開発が出来ましたが、観光にはどれだけ、役にたっているのでしょうか。最近では、新聞やチラシなどで、旭川の買物公園の商店を考えるなどの話がありますね。イオン駅前の店も出来ましたね。私も何度も行きました。沢山買物している人は、見渡せませんね。その為、イオンでも買物公園をよくする事を呼びかけていますね。

私は、西イオンにいつも買物に行きます。このイオンが出来たとき、私は素晴らしい店と思いました。買物は入りやすく、沢山の出入り口があり、国道から入りやすく、駐車場は広く、外国観光客のバスが、毎日のように来ていました。外人の方々は、大きな声で話すので大変にぎやかで楽しい雰囲気でした。それが、今年の春から、まったく観光バスがきません。どうしたのでしょうか。あれだけの観光バスが来なくなったのはなぜなのでしょう。またテナントの店が無くなり、どうしたのかと心配になりました。私は、外国観光バスだけでなく、日本の観光バスが全て旭川を通る時は、ここに入るように、旭川市で、頼むことではないでしょうか。また、旭川市でも、マイナスになるような、施設は作らないようにすることも考えてほしいです。北方野草園は旭川の観光地になっています。そこに、旭川の観光バスが来ていました。私は必ずそのバスに何人お客さんが乗っているか見届けます。一人か二人、だれもいないなどです。これを市の係はどのように思っているのだろうか。このような施設が沢山あるそうですね。旭川駅に、沢山の観光案内の資料がありますね。それを見て回りましたが、どこに行っても、だれもいない、人の出入りがありません。このような事を係の人はどのように思っているのでしょうか。これからまだまだ無駄をなくして、豊かになる事を考えて進みたいものですね。町の計画はどの係が、行うのでしょうか。都市計画係がありますが、どんな計画をするのでしょうか。都市計画を進めることなども、市民広報に入れていくことですね。市民は計画を見てよくなるか、悪くなるか、考えることもあると思います。こんな事を話したら、係の人がおこるでしょう。私は都市計画こそ、発展に一番大事な計画と思います。無駄な計画はしなく、発展をして、栄える町作りを考えていくことが、都市計画の考えではなからうか。旭川の大雪アリーナの前の道の駅はなぜあの場所になったのでしょうか。他の市町村の道の駅は、駐車場が広く、観光バスも入れる場所に作っていますね。旭川は北海道、第二の都市ですね。それが観光バスも入れない場所でのよいのでしょうか。

それでよしと思うのであれば、発展につながるようになるのでしょうか。これも都市計画の考えでしょうか。観光バスのお客様に、旭川の特産物を沢山お買い戴くことですね。観光バスも10台以上止める駐車場にすることですね。アリーナの駐車場は、道の駅から離れている

	<p>のでバスは入りにくいです。そう言うところも考えることですね。他の都市では、今年マラソンが盛んになってきましたね。そのマラソンに地方からの仲間達も沢山参加して、昨年の倍の参加だそうです。そのように、旭川でも、地方の人々が参加するものを考えなければなりませんね。旭川祭りも市民だけでなく、地方の参加を多くする事と思います。今年の夏祭りは、昨年より、盛り上がりが無く感じました。旭川音頭の踊り手も、なにか活気がなくなりましたね。見物人もあきあきしている。踊り手もいやいや踊り、ただ歩いている。年よりばかりで、長時間歩き疲れている。大都市のお祭りは外国観光客の方々も沢山なかまになって踊り楽しんでますね。屋台の食べ物も、旭川の自慢の食べ物など同じラーメンばかりでその他のものは出来ないのでしょうか。屋台の出店も多くして地方の観光客を呼ぶことですね。これでよいのでしょうか。大都市のように、もっと楽しい踊りや、子供達、親子で踊るものなど考えていくことですね。阿波踊りや、浅草のサンバカーニバル、ヨサコイ踊りなどは、ものすごく何日も行い観光客なども一緒になって楽しんでます。私も15年前に旭川でサンバカーニバルをロータリーから駅まで踊りました。それを旭川の観光のお祭りにする事で、商工会議所に話しましたが、取り入れられなかったのです。その理由は、警察の道路許可をとるので面倒とのことでした。なにをやるのも面倒はありますが、そんな会議所なら発展はありません。これからは、なにをやるのにも、地方の方々が沢山参加してもらえようなお祭りを沢山行う事ですね。私はこのような日常生活の事や、発展して行くお祭りの事など、係に話しても面倒のように、考えない係ばかりで、よくなることはないと思っています。その為にこのような夢構想をつくり、日本国民、世界の国民に、この文章を見てもらおうことにしています。</p>	
9	<p>すでに、この文章は200部作り仲間達に渡して、考えて戴いています。仲間達はその通りとの事だ。これから、どしどしと、よい方に進む事と話しています。発展は、観光客を呼べなければ、成り立ちませんね。旭川に観光客を呼び、何日も滞在して戴くことですよ。●それには、阿波踊り、サンバカーニバル、山車ねぶた、芸能歌手、野外劇団、子供劇発表会、北海道観光土産博、デパート商店会の土産博などなど何日間もやることですよ。日にちを変えて、今日は阿波踊り、明日はサンバカーニバル、次の日は山車ねぶた、その次は芸能歌手、次は野外劇団、その次は子供劇発表会、北海道観光土産博、デパート商店街の土産博と日にちを変えてやることですよ。大都市では、三日間も躍りっぱなしなど、その日その日に衣装を変えて躍るなど、さまざまな方法で楽しませて、観光客をもてなしています。それがなければ、発展はないですよ。旭川観光協会も、ホテルも、デパートも、毎日変わるイベント会場での宣伝や、チラシをホテルに滞在している観光客様に、次はここ、その次はここ宣伝をして、長く泊まって戴くことですよ。札幌ヨサコイは5日間も行うのですよ。始まる前から、地方の参加者や、観光客の人々が札幌のホテルに終わるまで5日間も滞在するのですよ。札幌のヨサコイを見て旭川の役人さんはなにを考えていますか。札幌のヨサコイも私達は今年で15年参加して楽しんでますよ。旭川のお役人の人達は、札幌のヨサコイの経済効果などを知っていますか。それらを考えているお役人様は旭川にいるだろうか。まねをすと言う人に合ったことはありません</p>	<p>第8次旭川市総合計画では、目指す都市像を「世界にきらめく いきいき旭川 ～笑顔と自然あふれる 北の拠点～」としており、旭川の魅力を国内はもとより世界へと発信し、国内外の多くの人に来ていただき、賑わいとまちの活性化につなげていくことが重要であると考えております。</p> <p>昨今、海外からの観光客が増加している中、海外において市長によるトップセールスを実施するなど、近隣自治体や関係団体とともに観光プロモーションを展開しており、今後とも本市をはじめ北海道への誘致を目指し、自然や食、景観などの様々な魅力を積極的に発信し、多くの外国人観光客を誘致し、都市像の実現につなげてまいりたいと考えております。</p>

	<p>ね。わたしの話を笑っているだろうと思いますよ。それでもよいですよ。笑う人はやってみなさいよ。やれない人ほど、笑うものですね。まだまだ考える事が沢山ありますが、それらは、今後の考えとして、まずは、いま話しました観光客を呼ぶことを皆さんで考えていくことにしたいのです。私はそのことをこれから、市のお役人の方々や、市の議会議員さん達とこの考えをしてくださる人に相談しながら、仲間の会を作り進む予定であります。どうか、市のお役人様、議員様、その他の事業主様、一緒になって考えてゆきませんか。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>仲間の会の発展を進めていきますので、参加出来る方々はお知らせください。よろしくお願い致します。</p> <p>旭川の発展は観光客を呼ぶ宣伝から</p> <p>皆さんこの夢構想をマンガの本にして宣伝に取り組みませんか。マンガを書ける人達集まれ。みなさん、これだけの夢構想は、長い長い時間がかかるものです。その為に今から、宣伝をして、市民が夢を忘れないように、いつも心に思っていくように考えました。</p> <p>今ある物の宣伝、旭川景色の宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川の山々を見渡す景色盆地に囲まれた、景色の春夏秋冬の景色を観光案内する宣伝 ・旭川沢山の数の花畑やフラワーランド、町村の自慢食やイベント観光案内する宣伝 <p>命の湧水宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雪山の湧水の宣伝と水の売り込み宣伝する ・水の湧いている場所にホテルで観光案内して、味わって戴き観光客にホテルで注文をとり送ってあげる ・命の湧水のよさの、パンフレット作りホテルで宣伝する <p>冬遊び雪の宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一の雪の結晶の宣伝と結晶見学案内をするホテルでDVD見学 ・雪の質日本一の宣伝と遊び場の指導と宣伝 	
10	<p>夢構想宣伝新幹線を旭川まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年函館まで来ます。すぐ札幌に来ます。次は旭川と皆で国に要望する事。それを次は旭川、次は旭川といつも宣伝をしていく事です。全ての北海道の方々に楽しみに思わせるのです。 ・いつ出来るかわかりませんが、いまから、作る運動をしている事を旭川市民や北海道市民に宣伝をします。そうすると今から観光客が旭川という都市を見ようと思ひ、沢山の人が見学にきます。そのつど宣伝ポスターを差し上げることです。 <p>国際飛行場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これもいまから、宣伝することです。観光客を呼ぶ為に、今から作ることを宣伝するのです。 ・旭川は、災害なく、北海道のど真ん中と宣伝して、ここから観光に行き旭川のホテルで楽しんで戴き、日本一のごちそう、何泊も滞在して戴き、おもてなしをします。 <p>ハイウェイドライブコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これは、市民が協力すればできますね。市の議員と役人がやる気になればできますね。予算がないと出来ないと言うでしょうが、無駄な収入のない施設は、やめてよくなる事からやることではないでしょうか。 <p>サイクリングロード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これも、ハイウェイドライブコースと並べて作れますね。このような観光に役立つことは、やることですよ。 	<p>第8次旭川市総合計画基本計画（案）では、基本政策7の施策1「まちの賑わいの創出」において、本市の固有の魅力を磨き上げ、国内外の多様なニーズに対応した四季を通じて楽しめる滞在交流型観光の確立に取り組むとしております。</p> <p>また、本市の多様な魅力を効果的に情報発信しながら、市民一人一人のおもてなしの心の醸成と受入体制の充実を図り、この地を訪れる国内外の人々が魅力に感動し、心地よさを実感できることが重要であると考えております。</p> <p>御意見にありますように観光振興のためには、空港や道路、鉄道などの交通の要衝である本市の特性を生かしていくことが重要であり、今後とも空港の機能充実や国内外への路線拡大、交通結節機能の強化を目指してまいります。</p> <p>さらに、地域内交通の機能充実を図り、市民の利便性の向上を図っていくことも重要であると考えております。</p>

	<p>モノレール鉄道</p> <p>・これも、今から宣伝や、マンガの本などで宣伝することですね。この夢の構想も、マンガ家の方々に本を作って戴き、夢構想を楽しませることですね。</p> <p>このように、沢山あるものをマンガや、絵本にして子供達や若者達に教えることですね。それらも役人はやれないでしょうね。それでも、出来そうな物などの宣伝を今からやることです。これも役人の人達はどのように思うでしょうね。めんどくさいと言うでしょうよ。そんな役人に任せないように、やれる人を役人にしましょうよ。さあこれから、仕事をしっかりやれる役人を議会で作ってくださいね。やれない役人にしたら、発展はないのですよ。このように、先取りして宣伝すると、人々は夢が来る、夢が来ると楽しみにする事でしょう。</p>	
11	<p>都 NPO 加入案。夢構想の数々。未来の都旭川夢構想論。夢構想案完成。</p> <p>私は旭川に来て50年がたちました。今になり、この旭川が、とても住みやすく、世界で一番住みやすい国と思っています。災害は無く、気候もよい、動植物の实りもよい、とてもよい都と思っています。その為、私が何か、歴史に残す物と考えたのが、この都旭川の将来の夢構想でした。この他に、歌5曲、歴史に残す文書5冊作りしました。歌は火の用心、救助隊、消防隊、ドクター隊、救急隊の5つです。全ての人命にかかる、災害用心の歌です。作文の文書は、旭川都・戦争はなぜおきる・健康は宝なり命は宇宙より大事である・生まれてよかった正しく生きて負けずに進め・自分史辛い生き方の5部です。これらの事は、誰でも考えていることでしょう。その為どうしたら、災害に気をつけるか、どうしたら生活を安心できるかを考えたものです。これから、これらの事を皆さんと考え研究していこうと思ひ、NPOの組織に加入して、どんどん進んで行く事を考えています。みなさんも、よければ、このような考えと幸せな世界、宇宙を作ることをNPOを立ち上げて進んで行きましょう。後日NPOの係の方々の話を聞いて考えることに致します。以上よろしくお願い致します。</p> <p>NPOの活躍</p> <p>この都旭川の構想の進め方についての考えは次のように進めて行くことにしています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、仲間がそろったら、この都の模型を作成します。3年かかると思ひます。その模型が出来たら、その模型を公民館や、科学館、博物館、各地域のセンターや、町内会館などに、沢山展示してもらひ、市民に見て戴き、もっとよいアイデアなど願ひすることにしてあります。 2、その後都市計画や、上川盆地の回りの調査にかかるとしています。 3、その後、計画図面などを作成して、市の担当者などと相談してみます 4、その後は担当者の話を聞いて進むことにします。 5、市民の話なども参考にして進むことにしています <p>皆さんこのような考えのことで、進む事にしました。このNPOに参加してこの夢構想を進める仲間と行っていくことにしています。仲間になって行く方がおりましたら参加して下さい。模型の形や、内容は作る仲間に任せますので、よいものを作ってください。出来上がったら、中からよいものを選び、それらを参考にして後に考えることにします。それでは、模型に進んでください。</p>	<p>地域においては、町内会や市民委員会といった住民自治組織はもちろんのこと、ボランティア組織やNPO法人などの多様な担い手による登下校の見守りや防災・防犯活動、イベント開催等といった公的な活動が広がっています。</p> <p>本市では、平成22年に市民活動交流センター「C o C o D e (ココデ)」を開設し、市民活動に関する相談や情報の提供、人材育成・技術向上のための講座・研修会の開催など、市民活動を総合的に支援する市民活動の拠点の場を整備し、NPO法人や市民活動団体の活動の活性化に取り組んでおります。</p> <p>第8次旭川市総合計画基本計画(案)では、基本政策11「市民、地域、行政が結び付き、心が通い合う環境づくり」の施策1「市民主体のまちづくりの推進」において、市民が主体的にあるいは行政との協働による課題解決を促進するため、ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、その特徴を生かしながら公共的役割を担える環境づくりを進めるとしており、今後も、NPO法人などの力を生かし、まちづくりを進めていくことが重要であると考えております。</p>

	<p>なにか聞きたいことがありましたら、お話しください。よろしくおねがい致します。</p> <p>お詫びの言葉</p> <p>皆様この夢構想をみて戴きありがとうございます。私が一人で考えて作成した物で、皆様には大変失礼な言葉が沢山あったことと思ひ、誠に申しわけなく反省しております。私なりに考えた物ですが、もしや、これが未来の若者達が一つでも考えて進んでくださればと思うもので、書き残すことにいたしました。皆様には、こんな文章を見て戴き大変失礼なことをいたしましたのでこんな物と思われるお方は、捨ててくださいませ。一緒に考えて行く方が何人かおりますのでその方々と考えて行くことにしております。もしや、一つでもこの中の事が、考えられるようになりましたら、皆さんも仲間になって下さいませ。誠に申してお詫び申し上げます。これにて失礼をさせて戴きます。</p> <p>旭川都300後構想の旅 構想案仲間と300年後の子供達との考えの旅の案 子供達みんな集まれ、300後の旅にでかけよう、行くぞー 出発 ランラン ランラン</p>	
12	<p>□市民が「生き生き」と暮らす⇒発信⇒にぎわい⇒まちの活力</p> <p>地域活性化モデルケース都市【目標像】にある「健康」と「食」という2つのアプローチで、高齢者（シルバー世代）がより充実した生活ができる活力ある都市（プラチナシティ）を実現したい。</p> <p>○私の提案</p> <p>1. 高齢者対象の料理教室</p> <p>高齢者が生き生きと暮らすには、外に出かけて多くの人と接し、自分にとって有益なことを習って知識や技を習得し、日々の生活に生かすことが大切であり、そこから活力も生まれると考えます。私の料理教室では、70～80代の女性もたくさん受講されます。皆さんに共通しているのは、「楽しみにしていた」「楽しかった」など必ず口にして伝えてくださることです。しかも皆さんは、私や他の生徒さんも感心するような長年の知恵をお持ちで、それらを聞きだし生徒さんの前で実演していただくのも私の役割のひとつです。</p> <p>私は「野菜」と「健康」をテーマに、料理講師として3年間活動してきました。旬の野菜を使って、低カロリー、低糖質、塩分控えめの調理法で、「干し野菜」や「50℃洗い」を交え、1時間半の枠ですと3～4品、2時間の枠で5品ほど作ります。この度取得したシニア野菜ソムリエの事業計画では、美味しく・作りやすく・健康によい野菜伝言レシピを10年後には1000品達成させることを掲げています。</p> <p>現在、私の料理教室の1つでは「生活習慣病予防野菜メニュー」というタイトルで、健康寿命を延ばすことを目標にしていますが、高齢者対象ですと低栄養も指摘されていますので、たんぱく質をしっかり摂り入れた栄養バランスのよいメニュー作りになります。また他の教室では10名の定員に毎回40名前後の応募があり、なかなか当たらないという声を多く聞きます。はずれというのは気分が落ち込みますので、応募された方をできる限り受け入れる体制作りも大切かと思ひます。回数は月1回、材料費は500円程度です。</p>	<p>近年、食を取り巻く環境が大きく変化し、食に対する意識の低下や食品の安全への不安、生活習慣病の増加、家庭の食卓でのコミュニケーション不足など、食に関する様々な問題が顕在化する中、本市におきましては、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむため、食育を推進してきているところであります。</p> <p>第8次旭川市総合計画基本計画（案）では、基本政策2「生涯を通じて健康に暮らせる保健・医療の推進」の施策1「市民の主体的な健康づくりと安心な医療の推進」において、市民の健康づくりへの意識向上を図り、子どもの頃からの食育などを推進するとしており、今後とも、食生活と健康に対する意識の向上や家庭における食育の推進など、食の大切さについて理解の促進に取り組んでまいります。</p> <p>また、現在進めている地域活性化モデルケースの北のプラチナシティあさひかわは、「健康」と「食」という2つのアプローチで、高齢者（シルバー世代）がより充実した生活ができる活力ある都市（プラチナシティ）の実現を目指すものであり、（仮称）SORAの駅の整備、北の発酵FOODの開発、研究開発機能等を備えた給食センターの整備などの事業を掲げております。</p> <p>具体的には、SORAの駅を活用した地域の食の国内外旅行者へのPRや食べマルシェにおける北の発酵FOODの販売など、それぞれの事業を効果的に連携させ、地場産業の振興と経済活性化につなげるとともに、子どもから高齢者までの誰もが生き生きと活躍し、安心して暮らせるまちづくりを目指してまいりたいと考えております。</p> <p>いただきました御提案につきましては、今後の事業推進の参考にさせていただきます。</p>
13	<p>□「重点施策」</p> <p>●こども 生き生き 未来づくり（教育）</p> <p>○私の提案</p>	<p>昨今、国や地方にとっても少子高齢化・人口減少への対応が急務となっており、本市としましても、いかにまちの活力の源である人口の減少を抑え、市民が住み慣れ</p>

2. 食育マイスターによる食育講座

食育が生まれた背景には、近年の食生活の変化があります。食の欧米化など動物性食品の摂取によって脂質の消費が増えたり、おかずが過剰で主食のご飯が少ない食事が増えるなど、タンパク質・脂質・炭水化物のエネルギー比率を表すPFCバランスが悪くなっています。加えて核家族化による情報伝達の断絶、女性の社会進出に伴う家事作業の省略化、外食・中食産業の発達など、社会情勢の変化です。これによって、5つのコショク（孤食・個食・固食・小食・粉食）など不規則な食事形態や安易な食べ残し、ひいては食事が原因で肥満や糖尿病にまで問題が及ぶようになりました。医療費の抑制や健康寿命を延ばすことによる生活の質（QOL: Quality of life）の向上、およそ40%にまで落ち込んだ自給率の引き上げのためにも、今、食育の必要性が叫ばれています。私は現在、夏休みと冬休みの年2回小学生を対象に食育講座（本来の講義に調理実習をプラスで1時間半）を行っています。以下内容を記します。

●「おやつを食べ方を学ぼう」

□実施目的—市販のポテトチップスやチョコレートなどは塩分・糖分・油が多く摂り過ぎは体によくないことを知り、またおやつ（かぼちゃスコーンと焼き芋）を手作りすることで素材本来の味の美味しさや調理の楽しさを知ってもらう。

□対象者—小学校3～6年生と見学の保護者

□内容・感想—第1回目ということで慣れない雰囲気ではありましたが、生徒さんは質問にきちんと答えて試食も美味しいということでした。飲み物は市販のジュースなどは糖分が多いことを伝え、番茶を用意しました。また食品添加物の問題を知ってもらうため、スナック菓子やチョコレート菓子を2種類ずつ用意して「食べるならどっち？」の質問をしたところ、笑顔も見られ場が和みました。会話のキャッチボールや楽しく楽しい雰囲気作りを心がけました。

□おみやげにキッチンクリップ・・・スナック菓子を1袋全部食べないようにという思いをこめました。

●「日本食ってすごい」

□実施目的—ユネスコ世界無形文化遺産に選ばれた日本食（和食）の魅力や、世界の料理と比べても人気があること、また日本食（ちらしずしとみそ汁）を作り、あっさりしていて素材（野菜）の味が生かされていることに気付いてもらう。

□対象者—小学校3年生～6年生と見学の保護者

□内容・感想—日本食の基本ともいえるだし3種（昆布とかつおだし・煮干し・だしパック）の味比べをしたところ、味の違いは全員分かったものの、だしだけではあまり美味しくないということでした。そこでみそ汁の具材やみそが加わることで美味しい料理が出来上がることを実感してもらい、何度もおかわりをする生徒さんもありました。日本食では野菜や魚の煮物、野菜ではトマトやニンジンが好きという声もありました。

●「朝ごはんって、すごく大切」

□実施目的—朝ごはんを食べた時と食べない時では、生活や勉強の様子に違いがあることを理解し、朝ごはんを食べることのよさや、もっとおいしく食べるための工夫を考える。また朝ごはん作りに挑戦して、調理を楽しんでもらう。

□対象者—小学校3～6年生・中学生と見学の保護者

□感想—講義よりも調理の方がやや盛り上がった雰囲気

た地域で安心して暮らせるまちづくり、また、多くの人を惹き付ける魅力ある地域づくりを進めていくかが大変重要な課題であると考えております。

こうした課題認識の中から、「人口減少の抑制」と「魅力的な地域づくり」を効果的かつ集中的に推進するため、まちの未来を担う「こども」、まちの賑わいと活力を生む「しごと」、まちの温もりを支える「地域」に視点を当て、「こども 生き生き 未来づくり」「しごと 生き生き 賑わいづくり」「地域 いきいき 温もりづくり」という3つの重点テーマを設定したところであります。

第8次旭川市総合計画基本計画(案)の4ページの「こども 生き生き 未来づくり」では、健康づくりや食育に関することは記載しておりませんが、重点施策に「妊娠・出産・子育てに関する支援の充実」、「子育て環境の充実」、「社会で自立して生きていく力を培う教育の推進」の3つを掲げており、子どもたちの健全育成を図っていくためには、健康づくりや食育の視点が重要であると考えております。

いただきました御提案につきましては、今後の事業推進の参考にさせていただきます。

	<p>気で、野菜を切ったり、調理の途中で何度も味見したり、お母さんにおにぎりを作ったり、と頑張った分お腹もすいて皆さん完食でした。また玄米入りのごはんで、ゆっくりよくかむこともできました。</p> <p>北海道第1号の食育マイスターとして、子供達に正しい知識や食事、マナー、料理の楽しさ、素材の美味しさや栄養などを分かりやすく伝え、食べることは自分の体を守る上で大切なことだよ、またいつも君達を応援しているよ、というメッセージを送り続けたいと思います。以下食育プログラム46個のテーマ内容です。</p> <p>①サイエンス（S）</p> <p>小学校低学年－S1 やさいとくだもの、わかるかな？、S2 たべものがどこで大きくなるか、わかるかな？、S3 よくかんでたべよう、S4 日本のすてきなごはん「ーじゅう三さい」</p> <p>小学校高学年－S5 食べ物を3つのグループに分けてみよう、S6 大豆は食べ物の王様、S7 おやつのお食べ方を学ぼう、S8 朝ごはんって、すごく大切</p> <p>中学生－S9 栄養をとって大きくなろう（1）、S10 栄養をとって大きくなろう（2）、S11 食品の表示を知ろう、S12 中学生の体と食事、S13 食品添加物ってなあに？</p> <p>高校生以上－S14 撲滅！メタボリックシンドローム、S15 食事バランスガイドで健康生活</p> <p>②マナー（M）</p> <p>小学校低学年－M1 いただきます、ごちそうさま、M2 なんて手をあらうの？、M3 ごはんのお手伝いでつきるかな？、M4 正しくおはしをもとう</p> <p>小学校高学年－M5 きれいに食べよう、M6 楽しく食べよう、M7 感じながら食べよう、M8 残さず食べよう</p> <p>中学生－M9 日本のマナー、M10 海外のマナー、M11 「コショク」</p> <p>高校生以上－M12 食卓からのエコロジー（1）、M13 食卓からのエコロジー（2）、M14 食べ物の裏側</p> <p>③カルチャー（C）</p> <p>小学校低学年－C1 おりょうりの「さ、し、す、せ、そ」ってなあんだ？、C2 めざせ！さかなはかせ、C3 いま、いちばんおいしいものはなあに？</p> <p>小学校高学年－C4 お米を知ろう、C5 ごちそうの日（年中行事と行事食）、C6 日本食ってすごい、C7 お茶を知っちゃおう</p> <p>中学生－C8 伝統料理（郷土料理）を知ろう、C9 この食べ物はどこから？、C10 地産地消、C11 農業ってクール！、C12 世界の朝ごはん、C13 海外の食文化を知ろう</p> <p>高校生以上－C14 世界三大料理、C15 縄文の食卓・平安の食卓、C16 明治時代のハイカラ食、C17 現代の食卓</p>	
14	<p>基本構想に掲げる目指す都市像や基本目標の実現に向けて、基本政策ごとの取組の方向を体系的に明らかにした「基本政策プラン」として、総合的かつ計画的な施策展開を図るために策定する。基本構想で掲げた5つの基本目標と13の基本政策に基づき、福祉・子育て、教育・文化・産業・交流、環境・都市基盤、住民自治や自治体経営などの基本政策ごとに、目標像、現状と課題、成果目標、施策で構成している。人口増加をできる限り抑制するため、これまで取り組んできた待機児童の解消や医療費助成などのほか、結婚、妊娠、出産、子育てなどへの切れ目のない支援を行い、子どもを安心して生み育て</p>	<p>御意見の内容につきましては、参考意見とさせていただきます。</p>

ることのできる環境を創出します。労働力の確保に向けて、若者を始め、女性やシニア世代も活躍し易い環境作りを進める。誰もが希望を持ち、安心して妊娠・出産・子育てが出来る様、仕事との両立の為の支援を始め、子供の成長過程や家庭環境等に応じた支援に取り組む。男性の育児参加の促進や子育てに配慮した労働環境の整備等、社会全体で子育てを支える環境作りを進める。高齢者や障害者等への適切な福祉サービスの提供を始め、人と人との支え合いによるセーフティネットを構築し、自立を支援し自ら誰もが住み慣れた地域で安心と温もりを感じる事が出来る福祉を推進する。次代を担う子供や若者が安全・安心で快適な教育環境の中で生き生きと学び、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む質の高い教育を進めるとともに、家庭・地域との連携を図り、地域に開かれた学校作りを推進する。生涯を通じて主体的に学ぶ機会の充実を図り、学び合いによる成果を生かし乍ら地域の教育力を高める。個性豊かで北国らしい文化の振興や郷土意識の向上を図るとともに、スポーツ・レクリエーションに親しめる環境の整備や各種大会・合宿等の誘致を進め、競技力の向上やスポーツのすそ野の拡大、スポーツを通じた地域活性化を図る。良質な農産物や高品質な家具等本市が誇る地場産品のブランド化や高付加価値を進め、競争力の向上や国内外への販売拡大を促進するとともに、地域の資源や特性を生かした企業誘致の推進や新たな産業の創出に取り組み、雇用の安定と拡大につなげる等、本市の持つ強みを発揮し、地域産業の活性化を図る。

中心市街地や各地域の個性を生かし、人が集い、感動につながる取組を進めるとともに、交通機能等の充実を図り、街全体の魅力を高める。人口や社会ニーズの変化を見据え、市営住宅や道路、水道等社会資本の計画的かつ効率的な運用を図り、暮らしの安全を支える都市の構築に取り組む。(旭川市政令指定都市) ロータリーに市内で一番高い旭川タワーの40階建てを建築し、展望台や観光情報センターを設け、買物公園へ人を呼ぶ買物公園ゾーン、銀座通ゾーンに地下通路や地下街を作る。伊の沢に道内どこにも無い花園を作り、観光客を呼ぶ。近文に市営のアイヌ記念館を建設、又嵐山に展望台を作りロープウェイで繋ぎ、市内の夜景が見える様にする。総合百貨店、映画館、マルシェ、個性の有る店舗、専門店等バラエティに富んだ商店街になる事。数多くのホテル、全ての都市銀行、全ての信託銀行、デパート等が建設されて欲しい。旭川市内近郊の高等学校約80校を新設する。新しい総合大学(法学部、商学部、政治経済学部、文学部、理工学部、薬学部、農学部、経営学部、医学部、歯学部等)の旭川市内近郊が約20大学以上の新規参入を目指す。旭川ドームの野球場、サッカー場、コンサート、イベント等の新規参入を目指す。子育てサークルの運営や自主的な家庭教育学習団体の活動の支援では、年間5万人の出産を目指す。大企業4500社の旭川支店ビルの新規参入を目指す。保育園399園、幼稚園294園、小・中学校約360校の新規参入を目指す。旭川市消防局(中央・北・東・白石・東光・豊岡・南・西・鷹栖・東川・東神楽・当麻・比布・永山・美瑛等)が発足する。財団法人旭川市防災協会の旭川市民センター等が発足する。旭川市消防局10階建ての新規参入を目指す。JRA日本中央競馬会の旭川競馬場を再開して欲しい。鷹栖から美瑛迄を新旭川市と統合する。旭川府庁ビル15階建ての新規参入を目指す。新しい旭川

府知事、副知事が発足する。北ガスビル10階建ての新規参入を目指す。民間ビル20～40階建ての新規参入を目指す。中心に新たな民放テレビ局、新たな総合大学、大手新聞旭川支社ビル10階建て、さらに地下鉄及び路面電車を建設し開業して欲しい。

旭川市役所を30階建てに建て替える。旭川市近郊初の50階建てタワーマンションは約500軒に達成している。ヒサヤ大黒堂旭川薬寮、大杉製薬(株)旭川支店、あかひげ薬局旭川店は近くて便利になる。旭川市内近郊のタクシー台数が約7000台も増車している。旭川市内近郊の警察本部が15区のビルの3～10階建ての工事が始まっている。ジェイアール北海道バス旭川市内6営業所を旭川電気軌道が譲渡する。北海道中央バス(株)旭川市内5営業所を道北バス(株)が譲渡する。全ての高速バスを旭川行きが必要である。全てのJRスーパー特急、急行列車等を旭川方面行きが必要である。旭川～東京へは、北海道新幹線の所要時間が約4時間位である。旭川の人口が約220万人を増やしたい。人口は約6部増加傾向にある。全ての高速道路の旭川ジャンクションは、暫定4車線を作りたい。JR旭川駅の1番ホームから10番ホームは学園都市線・東京方面へ拡大する。又、旭川シネマフロンティア(7階)、ユナイテッド・シネマ旭川(旭川ファクトリー館)は市内中心部が必要だ。旭川市内全ての作業所約200軒以上の建設して欲しい。(3階建て)新車の軽自動車、全ての自動車の旭川ナンバーが約150万台以上を増やす。3階建ての旭川府現代美術館の常設展・特別展示室・レストラン等を刷新し、改築する。エスカレーター、エレベーター付きの道北所蔵品美術館を建設して欲しい。劇団四季旭川劇場の新規参入を目指す。旭川共催ホールの全ての映画試写会の開催を目指す。全ての中学生・高校生の制服(学生服・セーラー服等)を廃止し、服装は自由とする。学校の夏休み・冬休みを次の通りとする。(夏休み期間:7月21日～8月末日迄42日間)(冬休み期間:12月26日～1月7日迄13日間)旭川市内近郊の総合専門学校が約70校の完成を目指す。滝川地方の旭川ナンバーにしたい。コンビニエンスストアのサークルKサンクス、ファミリーマートの旭川地区の新規参入を目指す。旭川市の予算額、一般会計が約1兆円・特別会計が約3,500億円、総額で1兆3500億円を増やしたい。20階建ての旭川中央郵便局ビルのレストラン、ギャラリー等の完成を目指す。残り14ヶ所の4階建ての郵便局の新規参入を目指す。いわや菓子店(本社・旭川)、ダイエー旭川店、長崎屋旭川店、丸井今井旭川店等のそれぞれ再開する。旭川トヨタ自動車、旭川トヨベツト、旭川日産自動車、ネッツトヨタ旭川、スズキオート旭川、旭川三菱自動車、旭川スバル自動車、旭川ダイハツ自動車等の旭川市内15区、愛別、上川店、滝川地方店の新規参入を目指す。年末年始の業務は毎年12月29日～翌年1月3日迄休みとなる。

政令指定都市新旭川市を目指す。旭川冬期五輪、パラリンピックを誘致する。栄光ゼミナール、河合塾、駿台予備学院、第一高等学院、佐々木ゼミナール、秀英予備校大学受験部旭川校、日本語教育研究所旭川校、漢検CBTで毎日が検定日の旭川事務所、四谷学院旭川校等の新規参入を目指す。旭川市内1000店舗を増やす。N T T東日本旭川病院(総合病院)の新規参入を目指す。旭川～(留萌、宗谷経由)根室迄は旭川府を目指す。国の機関は、人事院・内閣府・総務省・法務省・外務省・

財務省・文部科学省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省・防衛省・最高裁判所・全国知事会・全国都道府県議長会、北海道等の新規参入を目指す。旭川府の人口が600万人を増やしたい。旭川府知事、旭川府議会、旭川市長（政令指定都市）、旭川市議会選挙は、もしもが賛成する。全ての旭川市の住民投票に賛成する。旭川の三井不動産、東急不動産、三菱地所各グループの新規参入を目指す。読売、毎日、朝日、日経の旭川市内15区販売店の新規参入を目指す。旭川～仙台迄のフェリー号の新規参入を目指す。旭川の漁業協同組合、旭川の海水浴場、旭川のサケ・マス・イカ等の収穫の取り入れを目指す。旭川フェリーターミナルの新規参入を目指す。バス等の緑ナンバー全ての旭川200にしたい。2040年の旭川全ての祭りが懸念される。鷹栖、比布、当麻、東川、東神楽、美瑛、愛別、上川の全てのショッピングセンターの新規参入を目指す。お盆バスは、8月13日～15日、年末年始のバスは、土・日・祝日ダイヤ、12月29日・30日・31日（始発～26時台迄）、1月1日・2日・3日（始発～22時台迄）を運行したい。都市間高速バスの札幌・赤平・芦別・網走・岩見沢・小樽・帯広・北見・釧路・士別・砂川・滝川・苫小牧・名寄・根室・登別・函館・美唄・深川・富良野・三笠・室蘭・紋別・夕張・留萌・稚内・上川・せたな幌延・広尾・増毛・遠軽・余市・岩内・積丹・知床から旭川方面行きの新規参入を目指す。新車バスの購入のジェイアール北海道バスの新型ハイブリッドバスは、春と秋に約200台購入する。又、貸切バスの新型ハイブリッドバスは約200台で、年間400台購入する。高速旭川号、札幌・旭川発6時台～22時台の1日40往復増便を目指す。（夏・冬ダイヤと同じ）全ての中央バスが有力である。日産自動車・日産ディーゼル・三菱自動車バス製造、いずれも自動車の新車バスを購入する。又、大成線、大成校線、知遠別線、米飯線から旭川駅方面行きを再開したい。旭川市内初乗り運賃、1区220円、2区250円、郊外初乗り運賃190円を値上がりする。旭川、道北地方の通年定期観光バスの1日コース、半日コースの新規参入を目指す。旭川市の半区間、3区間、4区間の運賃を廃止する。

旭川のバスターミナルの旭川駅前ターミナルのりば1番～18番と旭川ターミナルのりば7番～9番に拡大される。民間バス会社においては、駅前ターミナルの北レーン・中レーン・南レーンに工夫されている。道央自動車道の高速納内、高速江部乙、高速砂川石山、高速砂川吉野、高速茶志内、高速東山、高速東山、高速栗沢、高速野幌は乗車・降車出来るし、サッポロファクトリー前に停車する。JR鉄道のスーパー特急カムイは、札幌発5時台～22時台、旭川発6時台～23時台の1日34往復増便し、スーパー特急サンライズは、釧路・帯広発5時台～22時台、旭川発6時台～23時台の1日31往復増便し、スーパー特急北斗は、函館発5時台～22時台、旭川発6時台～23時台の1日31往復増便を目指す。旭川市内近郊の路線バスの全線は、15～60分間隔の1日60往復増便を目指している。

（稚内地方）稚内市役所は、財政部、経済部、市民部、福祉部、環境部、建設部、港湾部、水道局、議員事務局、消防本部等の新規参入を目指す。民間ビル・民間マンション等の10階建ての新規参入を目指す。稚内総合博物館（海峡、ワインギャラリー、科学館、鉄道）、コープさっぽろ・イオン稚内店・コンビニエンスストアのサー

ケルKサンクス、セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート稚内事務所、都市ガス北海道ガス稚内支店、日野自動車・日産ディーゼル・三菱自動車バス製造、いすゞ自動車稚内支店、病院・医院（眼科）7店舗（呼吸器科）3店舗（産婦人科）3店舗（耳鼻咽喉科）6店舗（循環器科）6店舗（小児科）9店舗（精神科・神経科）5店舗（神経内科）3店舗（心療内科）3店舗（脳神経外科）6店舗（泌尿器科）4店舗（病院・療養所）14店舗（医院・診療所）11店舗（胃腸科・消化器科）9店舗、読売、毎日、朝日、日経稚内・枝幸支局、AOKI稚内店、ヤマダ電機稚内店、エアージー、FMノースウェーブの新規参入を目指す。稚内市の人口が約20万人の4倍、利尻富士町の人口が約2万2千人の10倍、豊富町の人口が約1万6千人の4倍、枝幸町の人口が約2万人の2倍の増加を目指す。稚内に高等養護学校の新規参入を目指す。外国・道外からの中・高校生も修学旅行を沢山訪れる。稚内市の予算額、一般会計が約750億円・特別会計が約750億円・総額1500億円を増やしたい。子育てサークルの年間約3000人の出産を目指す。宗谷海峡大橋トンネル、道北自動車道の旭川～稚内間、国道237、40、231、233、12、39、273、44、38号線暫定4車線工事の完成を目指す。稚内地方個人タクシー、北交ハイヤー、共同交通、つばめ交通、こだま交通、中央タクシー、ミドリハイヤー稚内支店の新規参入を目指す。稚内発6時台～22時台、旭川発7時台～22時台の全ての高速バスの1日40往復増便し、宗谷地方バス路線の全路線30～60分間隔の1日60往復を目指す。JR鉄道のスーパー特急宗谷は、稚内発5時台～22時台、旭川発6時台～23時台の1日40往復増便を目指す。

（新富良野市）子育てサークル運営や自主的な家庭教育学習団体の活動の支援では、年間約2400人の出産を目指す。大企業約1500社の富良野支店・営業所・出張所ビルの新規参入を目指す。保育園約18園、幼稚園約12園、小・中学校約23校、高等学校約2校、大学約1大学、専門学校約2校の新設を目指す。北海道ガス富良野支店ビル5階建ての完成を目指す。民間ビル5～10階建ての完成を目指す。都市ガス13Aの天然ガスへ引っ張る。西学田全域の都市住宅の完成を目指す。富良野市内初の10階建てマンションは約100軒に達成している。富良野市内のタクシー台数が約500台も増車している。ジェイアール北海道バス富良野営業所をふらのバスが譲渡する。富良野市人口が約10万人を増やしたい。人口は約4倍以上増加傾向にある。JR富良野駅の高架化、ガラス張りの東口、西口、南口、北口の完成を目指す。新富良野空港ビルの国内全路線、国際全路線合わせて1日240往復増便し、広さにしたい。コンビニエンスストアのサークルKサンクス、ファミリーマートの道北地区の新規参入を目指す。富良野市の予算額、一般会計約700億円・特別会計約300億円・総額で約1000億円を増やしたい。秀英予備校富良野駅前校、イオンモール富良野店、イトーヨーカドーのアリオ富良野店の赤ちゃん本舗と総合デパート、ヤマダ電機富良野店、AOKI富良野店の新規参入を目指す。今後の旭川府知事、旭川府議会、富良野市長、富良野市議会はもしもが賛成する。又、富良野市全ての住民投票にしたい。旭川発7時台～21時台、富良野発6時台～21時台の全ての高速バスの1日24往復増便。上富良野～占冠間の新富良野市が誕生する。旭川府ホールディン

グスが設立する。全路線は富良野地方30～60分間隔、特急バスの富良野～帯広間の1日約10往復運行する。(2時間55分)旭川ケーブルテレビの新富良野の完成を目指す。いわや菓子店(本社・旭川)、読売、毎日、朝日、日経富良野支局の新規参入を目指す。

(新名寄地方)新美深市(美深、中川、音威子府)が誕生する。名寄市の人口が約7万人、美深市の人口が約2万人、士別市の人口が約3万人、剣淵市の人口が約1万人、和寒市の人口が約2万人を増やしたい。タクシー会社(名寄)7社(美深)2社(士別)3社(剣淵)2社(和寒)3社、都市ガスの北海道ガス名寄、士別、剣淵、和寒、美深各支店の新規参入を目指す。都市ガスの13Aの天然ガスへ引っ張る。幼稚園15園、保育園27園、小学校24校、中学校14校、高等学校11校の新設・増設の完成を目指す。子育てサークルの運営や自主的な家庭教育学習団体の活動の支援では、年間約4000人の出産を目指す。美深(2往復)、名寄(20往復)、士別(2往復)、剣淵(2往復)、和寒(2往復)～旭川方面行き的高速バスの直行便が増便を目指す。外国、道外からも沢山修学旅行で訪れる。いわや菓子店(本社・旭川)新規参入を目指す。多くのホテルを新しく増やしたい。新名寄地方バス路線30～60分間隔の1日60往復を目指す。病院・医院(病院・療養所)名寄6店舗、美深1店舗、士別4店舗、剣淵1店舗、和寒1店舗(医院・診療所)名寄4店舗、美深3店舗、士別1店舗、剣淵1店舗、和寒3店舗(胃腸消化器内科、胃腸消化器外科)名寄2店舗、和寒1店舗(眼科)名寄2店舗、士別1店舗(形成外科)なし(外科)名寄2店舗(肛門内科、肛門外科)1店舗(産婦人科)名寄1店舗、和寒1店(耳鼻咽喉科)名寄2店舗、士別1店舗、和寒1店舗(循環器内科、循環器科)1店舗(乳腺外科)1店舗(小児科)名寄5店舗、美深1店舗、士別1店舗、和寒1店舗(心療内科)1店舗(整形外科)名寄2店舗、美深1店舗(内科)名寄11店舗、美深4店舗、士別5店舗、和寒5店舗(麻酔科)2店舗(皮膚科)2店舗の新設・増設の完成を目指す。医師不足を増やしている。剣淵、和寒市民会館工事の完成を目指す。剣淵鉄道記念館(遊園地)の新規参入を目指す。(精神科)名寄3店舗、士別2店舗、和寒1店舗の新設・増設の完成を目指す。

(留萌市)留萌市の予算額、一般会計が約450億円、特別会計が約450億円、総額が約900億円を増やしたい。都市ガスの北海道ガス留萌支店、旭川府グリーンランド(遊園地、スキー場)、専門学校、大学、パークラブ、イオン留萌店、いわや菓子店(本社・旭川)、読売、毎日、朝日、日経留萌・手塩・羽幌各支局の新規参入を目指す。留萌地方バス路線の全路線30～60分間隔、1日30往復増便を目指す。留萌市の人口が約9万人を増やしたい。子育てサークルの運営や自主的な家庭教育学習団体活動は、年間約2400人の出産を目指す。JR線の旭川～留萌間の普通列車・快速列車の新規参入を目指す。幼稚園7園、保育園25園、小学校15校、中学校10校、高等学校5校の新設・増設の完成を目指す。病院・医院(病院、療養所)6店舗(医院、診療所)13店舗(胃腸消化器内科、胃腸消化器外科)5店舗(眼科)3店舗(形成外科)1店舗(外科)2店舗(肛門内科、肛門外科)1店舗(産婦人科)3店舗(耳鼻咽喉科)3店舗(循環器内科、循環器外科)3店舗(神経内科)1店舗(小児科)6店舗(診療内科)3店舗(整

形外科) 3店舗(精神科) 4店舗(内科) 20店舗(泌尿器科) 2店舗(皮膚科) 3店舗の新設・増設の完成を目指す。医師不足を増やしている。数多くのホテルを新しく増やしたい。外国、道外からも修学旅行で沢山訪れる。都市ガス13Aの天然ガスへ引っ張る。留萌(40往復)、増毛(2往復)～旭川方面行きの高速バスの直行便増便を目指す。

(新深川市) 深川市～沼田の新深川市が合併して誕生する。深川市の人口が約7万人を増やしたい。専門学校、都市ガスの北海道ガス深川支店、山崎製パン、サッポロビール、森永乳業、サントリービール旭川工場、AOKI 深川店、ヤマダ電機深川店、イトーヨーカドーのアルオ深川店の赤ちゃん本舗と総合デパートの新規参入を目指す。都市ガス13Aの天然ガスへ引っ張る。幼稚園8園、保育園9園、小学校8校、中学校5校、高等学校2校の新設・増設の完成を目指す。子育てサークルの運営や自主的な家庭教育学習団体の活動支援は、年間2000人の出産を目指す。数多くのホテルを新しく増やしたい。外国、道外からも修学旅行で沢山訪れる。いわや菓子店(本社・旭川)、読売、毎日、朝日、日経深川支局の新規参入を目指す。国道12・233・231号線の暫定4車線工事の完成を目指す。病院・医院(病院、療養所) 6店舗(医院、診療所) 4店舗(胃腸消化器内科、胃腸消化器外科) 1店舗(眼科) 2店舗(形成外科) 0店舗(外科) 3店舗(肛門内科、肛門外科) 0店舗(産婦人科) 1店舗(耳鼻咽喉科) 3店舗(循環器内科、循環器科) 2店舗(神経内科) 0店舗(小児科) 4店舗(心療内科) 0店舗(整形外科) 2店舗(精神科) 2店舗(内科) 7店舗(泌尿器科) 1店舗(皮膚科) 1店舗の新設・増設の完成を目指す。医師不足を増やしている。

(道北・道東) オホーツクの人口が約45万人、十勝の人口が約360万人、釧路・根室の人口が約170万人を増やしたい。都市ガスのオホーツク、十勝、釧路・根室の新規参入を目指す。都市ガス13Aの天然ガスへ引っ張る。幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校、大学、専門学校の新規・増設の完成を目指す。タクシー会社約110社、網走地方個人タクシーの新規参入を目指す。子育てサークルの運営や自主的な家庭教育学習団体活動支援は、年間約4000人の出産を目指す。旭川地方・上川地方・留萌地方・宗谷地方・北空知地方・オホーツク地方・十勝地方・釧路・根室地方、北海道知事、内閣総理大臣、各商工会議所等には是非お願いしたい。外国、道外からも修学旅行で沢山訪れる。読売、毎日、朝日、日経北見・帯広・釧路支社、根室、厚岸・弟子屈・中標津・池田・新得・広尾・本別・網走・紋別・遠軽・美幌各支局の新規参入を目指す。多くのホテルを新しく増やしたい。道東自動車道の旭川～釧路間、旭川～網走間の暫定4車線工事の完成を目指す。国道39、273、44、38号線の暫定4車線工事の完成を目指す。オホーツクの医療機関400店舗、十勝の医療機関800店舗、釧路・根室の医療機関700店舗を増やしたい。医師不足を増やしている。コンビニエンスストアのサークルKサンクス、ファミリーマートの新規参入を目指す。紋別(7往復)、遠軽(5往復)、北見・網走(10往復)、帯広(40往復)、釧路(4往復)、根室(2往復)～旭川方面行きの高速バスの直行便が増便を目指す。帯広市内の半区間160～170円、1区間170～190円、2区間200～220円、3区間220～240円、4区間240円～260円の運賃を設定する。

15	<p>(道北地方)全てのバス会社のICカードを使用する。全路線共通ICカードを発売する。旭川地方のタクシー会社は、普通車一体化にしたい。初乗り運賃700円とし、ETCも全車設置してはどうか。日野自動車・日産ディーゼル・三菱自動車バス製造・いすゞ自動車稚内、富良野、留萌、名寄各支店の新規参入を目指す。道央自動車道の高速納内、高速江部乙、高速砂川石山、高速砂川吉野、高速茶志内、高速東山、高速栗沢、高速野幌は、乗車・降車出来るし、サッポロファクトリー前に停車する。JR鉄道のスーパー特急は、札幌発5時台～22時台、旭川発6時台～23時台の1日34往復増便し、スーパー特急サンライズは、釧路・帯広発5時台～22時台、旭川発6時台～23時台の1日31往復増便し、スーパー特急北斗は函館5時台～22時台、旭川発6時台～23時台の1日31往復増便を目指す。旭川市内近郊の路線バスの全路線は、15～60分間隔の1日100往復増便を目指している。富良野・新名寄・留萌・深川地方バス路線30～60分間隔で運行を目指す。旭川発7時台～21時台、富良野発6時台～21時台、1日40往復増便、美深(2往復)、名寄(20往復)、士別(2往復)、剣淵(2往復)、和寒(2往復)、留萌(40往復)、増毛(2往復)、北竜・沼田～旭川方面行きの高速バスの直行便が約40往復増便を目指す。タクシー会社(名寄)7社(美深)2社(士別)3社(剣淵)2社(和寒)3社(留萌)8社(深川)6社(道東)約110社(網走)地方個人タクシーの新規参入を目指す。紋別(7往復)遠軽(5往復)北見・網走(10往復)帯広(40往復)釧路(4往復)根室(2往復)～旭川方面行きの高速バスの直行便が増便を目指す。旭川市内初乗り運賃1区210～220円、2区240～250円、郊外初乗り運賃190～200円を値上がりする。旭川・道北地方の通年定期観光バスの1日コース、半日コースの新規参入を目指す。旭川市の半区間、3区間、4区間の運賃を廃止する。</p> <p>(稚内地方)稚内市役所は、財政部・経済部・市民部・福祉部・環境部・建設部・港湾部・水道局・議員事務局・消防本部等の新規参入を目指す。民間ビル・民間マンション等の10階建ての新規参入を目指す。稚内総合博物館(海峡・ワインギャラリー・科学館・鉄道等)、コープさっぽろ、イオン稚内店、コンビニエンスストアのサークルKサンクス、セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート稚内事務所、都市ガス北海道ガス稚内支店、読売、毎日、朝日、日経稚内・枝幸支局、AOKI稚内店、ヤマダ電機稚内店、エアージー、FMノースウェブの新規参入を目指す。病院・医院(眼科)7店舗(呼吸器科)3店舗(産婦人科)3店舗(耳鼻咽喉科)6店舗(循環器科)6店舗(小児科)9店舗(精神科・神経科)5店舗(神経内科)3店舗(心療内科)3店舗(脳神経外科)6店舗(泌尿器科)4店舗(病院・療養所)14店舗(医院・診療所)11店舗(胃腸科・消化器科)9店舗の新設・増設の完成を目指す。医師不足を増やしている。稚内市の人口が約20万人の4倍、利尻富士町の人口が約2万2千人の10倍、豊富町の人口が約1万6千人の4倍、枝幸町の人口が約2万人の2倍の増加を目指す。稚内に高等養護学校を目指す。外国・道外からの中・高校生も修学旅行も沢山訪れる。稚内市の予算額一般会計が約750億円、特別会計が約750億円、総額約1500億円を増やしたい。子育てサークルの年間約3000人の出産を目指す。宗谷海峡大橋トンネル、</p>	御意見の内容につきましては、参考意見とさせていただきます。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------

道北自動車道の旭川～稚内間、国道237、40、231、233、12、39、273、44、38号線暫定4車線工事の完成を目指す。稚内地方個人タクシー、北交ハイヤー、共同交通、つばめ交通、こだま交通、中央タクシー、ミドリハイヤー稚内支店の新規参入を目指す。稚内発6時台～22時台、旭川発7時台～22時台の全ての高速バスの1日40往復増便し、宗谷地方バス路線の全路線30～60分間隔の1日60往復を目指す。JR 鉄道のスーパー特急宗谷は、稚内発5時台～22時台、旭川発6時台～23時台の1日40往復増便を目指す。

(新富良野市) 子育てサークルの運営や自主的な家庭教育学習団体の活動は、年間約2400人の出産を目指す。大企業約1500社の富良野支店、営業所、出張所ビルを新規参入を目指す。保育園約18園、幼稚園約12園、小・中学校約23校、高等学校約2校、大学約1校、専門学校約2校の新設・増設を目指す。北海道ガス富良野支店ビル5階建ての完成を目指す。民間ビル5～10階建ての完成を目指す。都市ガス13Aの天然ガスへ引っ張る。西学田全域の都市住宅の完成を目指す。富良野市内初の10階建てマンションは約100軒に達成している。富良野市内のタクシー台数約500台も増車している。ジェイアール北海道バス富良野営業所をふらのバスが譲渡する。富良野市の人口が約10万人を増やしたい。人口は約4倍以上増加傾向にある。JR 富良野駅の高架化、ガラス張りの東口、西口、南口、北口の完成を目指す。新富良野空港ビルの国内全路線、国際全路線合わせて1日240往復増便、広さの24時間運航とする。コンビニエンスストアのサークルKサンクス、ファミリーマートの道北地区の新規参入を目指す。富良野市の予算額、一般会計約700億円、特別会計が約300億円、総額で約1000億円を増やしたい。秀英予備校富良野駅前校、イオンモール富良野店、イトーヨーカドーのアリオ富良野店の赤ちゃん本舗と総合デパート、いわや菓子店、読売、毎日、朝日、日経富良野支局、ヤマダ電機富良野店、AOKI 富良野店の新規参入を目指す。今後の旭川府知事、旭川府議会、富良野市長、富良野市議会は、もしもが賛成する。今後は旭川府が賛成する。又、富良野市全ての住民投票にしたい。上富良野～占冠間の新富良野市が誕生する。旭川府ホールディングスが設立する。特急バスの富良野～帯広間の1日約10往復運行する。旭川ケーブルテレビの新富良野市の完成を目指す。

(新名寄地方) 新美深市が誕生する。名寄市の人口が約7万人、美深市の人口が約2万人、士別市の人口約3万人、剣淵市の人口が約1万人、和寒市の人口が約2万人を増やしたい。都市ガスの北海道ガス名寄、士別、剣淵、和寒、美深各支店の新規参入を目指す。都市ガスの13Aの天然ガスへ引っ張る。幼稚園(名寄)2園(美深)1園(士別)4園(剣淵)1園(和寒)1園、保育園(名寄)8園(美深)2園(士別)10園(剣淵)3園(和寒)4園、小学校(名寄)6校(美深)5校(士別)6校(剣淵)2園(和寒)5校、中学校(名寄)4校(美深)2校(士別)4校(剣淵)2校(和寒)2校、高等学校(名寄)3校(美深)3校(士別)3校(剣淵)1校(和寒)1校の新設・増設の完成を目指す。子育てサークルの年間約4000人の出産を目指す。道外、外国からも修学旅行で沢山訪れる。病院・医院(病院・療養所)名寄6店舗、美深1店舗、士別4店舗、剣淵1店

舗、和寒1店舗（医院・診療所）名寄4店舗、美深3店舗、士別1店舗、剣淵1店舗、和寒3店舗（胃腸消化器内科・胃腸消化器外科）名寄2店舗、和寒1店舗（眼科）名寄2店舗、士別1店舗（形成外科）なし（外科）名寄2店舗（肛門内科・肛門外科）1店舗（産婦人科）名寄1店舗、和寒1店舗（耳鼻咽喉科）名寄2店舗、士別1店舗、和寒1店舗（循環器内科・循環器科）1店舗（乳腺外科）1店舗（小児科）名寄5店舗、美深1店舗、士別1店舗、和寒1店舗（心療内科）1店舗（整形外科）名寄2店舗、美深1店舗（精神科）名寄3店舗、士別2店舗、和寒1店舗（内科）名寄11店舗、美深4店舗、士別5店舗、和寒5店舗（麻酔科）2店舗（皮膚科）2店舗の新設・増設を目指す、医師不足を増やしている。いわや菓子店名寄店、読売、毎日、朝日、日経名寄・美深・別・和寒支局、剣淵・和寒市民会館、剣淵総合記念館（鉄道等）の新規参入を目指す。

（新留萌市）留萌市の予算額、一般会計が約450億円、特別会計が約450億円、総額が約900億円を増やしたい。都市ガスの北海道ガス留萌支店、旭川府グリーンランド（遊園地・スキー場）、専門学校、大学、パーククラブ、いわや菓子店留萌店、イトーヨーカドー留萌店、西松屋留萌店、読売、毎日、朝日、日経留萌・天塩・羽幌各支店の新規参入を目指す。留萌市の人口が約9万人を増やしたい。子育てサークルの年間約2400人の出産を目指す。JR線の旭川～留萌間の普通列車、快速列車の新規参入を目指す。幼稚園7園、保育園25園、小学校15校、中学校10校、高等学校5校の新設・増設の完成を目指す。数多くのホテルを新しく増やしたい。外国・道外からも修学旅行で沢山訪れる。都市ガス13Aの天然ガスへ引っ張る。病院・医院（病院・療養所）6店舗（医院・診療所）13店舗（胃腸消化器内科・胃腸消化器外科）5店舗（眼科）3店舗（形成外科）1店舗（外科）2店舗（肛門内科・肛門外科）1店舗（産婦人科）3店舗（耳鼻咽喉科）3店舗（循環器内科・循環器外科）3店舗（神経内科）1店舗（小児科）6店舗（心療内科）3店舗（整形外科）3店舗（精神科）4店舗（内科）20店舗（泌尿器科）2店舗（皮膚科）3店舗の新設・増設の完成を目指す、医師不足を増やしている。

（新深川市）深川（妹背牛・秩父別・北竜・沼田）の新深川市が合併して誕生する。深川市の人口が約7万人を増やしたい。専門学校、都市ガスの北海道ガス深川支店、山崎製パン、サッポロビール、森永乳業、サントリービール等の旭川工場、いわや菓子店深川店、読売、毎日、朝日、日経深川支局、AOKI深川店、ヤマダ電機深川店、イトーヨーカドーのアリオ深川店の赤ちゃん本舗と総合デパートの新規参入を目指す。都市ガス13Aの天然ガスへ引っ張る。幼稚園8園、保育園9園、小学校8校、中学校5校、高等学校2校の新設・増設の完成を目指す。子育てサークルの年間約2000人の出産を目指す。外国・道外からの中・高校生は修学旅行で沢山訪れる。数多くのホテルを新しく増やしたい。病院・医院（病院・療養所）6店舗（医院・診療所）4店舗（胃腸消化器内科・胃腸消化器外科）1店舗（眼科）2店舗（形成外科）なし（外科）3店舗（肛門内科・肛門外科）なし（産婦人科）1店舗（耳鼻咽喉科）3店舗（循環器内科・循環器科）2店舗（神経外科）0店舗（小児科）4店舗（心療内科）なし（整形外科）2店舗（精神科）2店舗（泌尿器科）1店舗（皮膚科）1店舗の新設・増

	<p>設の完成を目指す、医師不足を増やしている。</p> <p>(オホーツク)オホーツクの人口が約45万人、十勝の人口が約360万人、釧路・根室の人口が約170万人増やしたい。都市ガスのオホーツク、十勝、釧路・根室地方の新規参入を目指す。都市ガスの13Aの天然ガスへ引っ張る。幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校、大学、専門学校の新設・増設の完成を目指す。子育てサークルの年間約4000人の出産を目指す。上川・留萌・宗谷・深川・オホーツク・十勝・釧路・根室地方、北海道知事、内閣総理大臣、各商工会議所等に是非お願いしたい。外国・道外からの中・高校生からも修学旅行で沢山訪れる。多くのホテルを新しく増やしたい。道東自動車道の旭川～釧路間、旭川～網走間の暫定4車線工事の完成を目指す。オホーツクの医療機関400店舗、十勝の医療機関800店舗、釧路・根室の医療機関700店舗を増やしたい。医師不足を増やしている。読売、毎日、朝日、日経北見・帯広・釧路支社、根室・厚岸・弟子屈・中標津・池田・新得・広尾・本別・網走・紋別・遠軽・美幌各支局、コンビニエンスストアのサークルKサンクス、ファミリーマート、いわや菓子店オホーツク・十勝・釧路・根室店の新規参入を目指す。帯広市内の半区間160～170円、1区間170～190円、2区間200～220円、3区間220～240円、4区間240～260円の運賃を設定する。</p>	
16	<p>自ら体験も含めての具体的な構想、アイデア等を書くが(同封する①甲子園21世紀粋文武両道で選ばれる球児たち、②旭川市子どもカレッジ手帳。この二つは、総合計画作成委員の活かし方こそがまちづくり担当の腕の見せ所になる筈のレベルの高い具体的例であります。①には、旭川東の実態と現在21世紀粋推薦になるかどうかの所に来ています。この様な旭川市のシンボルとなつての活躍校がどう教育活動の一つとして考えて見るのも行政の力量が問われるところです。言葉足りなく略するが)</p> <p>240ページになる本「教育学習テキスト」を出筆終了間近の時に「ガンの発見」、入院準備の検診と入院が続き、病院での手術前2日間の余裕時間で常々思っ、自ら実践もして来たことを箇条書で書き、教育実践可能な具体的な事例を示し、運が良くて退院した時は、再度深めた内容で教育・生涯学習とも含めた関連することも提案・意見としてお話に行ければと思っています。</p> <p>ここでは、重点テーマ三つあるが、①と③等の連携する要素の施策も含めたいが、8次の1回の提案としては、自らが関わった教育の反省も含めて、約60年間の現場体験、特に旭川市内在職40年間の体験からの思いも込めて、これからのグローバル社会に有効となる施策・アイデアを提案・意見としたいものである。</p> <p>教育にどんな「テーマ・言葉」があるのか、実際に学びの質を高め、その子ども達の「生きる力」を育むことはむずかしいが、挑戦が重要な言葉として「学びの質と平等を同時に追求する」(戦後70年間の教育界で得られた貴重な言葉で教育学者、教員の中でも大切にされている「教育の理念」と言っても良い)とあって、21世紀の学校をめざすと言われている。</p> <p>今、多様化の時代で考えや価値観の違いがあっても、教育理念を尊重しながら、先ず子ども達の学びのスタートラインを一緒になるような教育環境・状況を整え保障することが先決である。(90%入学の高校も含め小、中の義務教育までは、経済力「特に親の」で影響を少な</p>	<p>第8次旭川市総合計画基本計画(案)では、本市の諸課題の解決に向けてこれまで以上に施策や事業の「選択と集中」を図るため、まちの未来を担う「こども」、まちの賑わいと活力を生む「しごと」、まちの温もりを支える「地域」に視点を当て、「こども 生き生き 未来づくり」「しごと 活き活き 賑わいづくり」「地域 いきいき 温もりづくり」という3つの重点テーマと9つの重点施策を設定したところであります。</p> <p>重点テーマIの「こども 生き生き 未来づくり」では、「社会で自立して生きていく力を培う教育の推進」を重点施策とし、子どもたちが一人一人の個性や能力を伸ばすことのできる質の高い教育を進めることとしております。</p> <p>いただきました御意見や同封の資料につきましては、具体的な教育の実践例などが詳細に記載されており、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、資料につきましては、掲載は省略させていただきます。</p>

	<p>くする教育制度が基本として考えるべきである。）</p> <p>このことから、いじめ・暴力・不登校の生まない教育制度が必要である。特に前途のことは教員は勿論、行政・教育委員会が熟知の上、子ども達の「心・行動・感性」などを深くつかんだところで、（教育心理学者の助言を頂いて）1の重点テーマ「子どもの生き生き未来づくり」に当たらなければ、絵に描いた餅と言っても良く中身が充実しない。25年遠軽高（文武両道の本）、28年旭川東（21世紀枠、北海道推薦第1候補）の二つの高校とも、文武両道の教育の高校としては、北海道222高校の中で北海道文武両道でトップとなり、25年遠軽高校は全国文武両道のトップとなり、28年旭川東が全国文武両道のトップになる可能性のある高校です。この二つの高校「遠軽高校・旭川東高」の校風・伝統は、旭川市まちづくりにとっても十分に参考になる部分があります。遠軽高まとめ約24OP旭川東（232～24OP）を見て頂き、行政の方々（総務部など）も参照下さい。</p> <p>以上、第8次旭川市総合計画基本計画（案）に対する意見・提案としては、ポイントのはずれたことを書いていますが、これほど行政が取り組み、完璧に近い基本計画（案）に私の意見・提案も既に過ぎ去ってしまっていることにも思いますが、この機会にやや一方的な思いを書きますが、旭川市役所がかかえる全体像の中にあてはまる部分を活かしていただければと思います。特に、教育・生涯学習についての意見・提案でもあるが、どちらかと言えば、これから進めるべき具体的な施策的なこと（市民は、ここからのことに関心が強いのです。）を書きますが、知恵ある行政の方々は、主に教育・生涯学習のいずれかの部分に活かして下さい。</p> <p>何よりも前途して来た「学びの質と平等を同時に追求する」という言葉は教育のみならず、あらゆるところにこの言葉が活かされる、特に行政の方々にこの言葉を活かしていただけることは、市民にとっても、本物の民主的な社会のまちづくりになるものと思います。</p>	
17	<p>1. 教育の構想の言葉である多くのこと次の「テーマ・言葉」の意図が入って欲しい。これに基づいて、全てのことが民主的に企画・運営されると市民の全ての人々に納得される。そのテーマ・言葉「理念と言っても良く・・・」はグローバルな社会に特に意識して欲しい、21世紀のための言葉であるその言葉は「学びの質と平等を同時に追求する」</p> <p>2. 日本の教育は、詰め込み、偏差値競争教育が強く、スパルタ的教育が好きな方々が多いが、PISAのテスト評価が実施されるようになってから、自ら考える行動をしないと言葉も大切にされるようになって、2000年頃の実施から、自主的な教育、グループ学習による学びの質を高める話し合いの教育が重要で子どもたちに平等（スタートラインが一緒に経済の影響を小さく格差を大きくしない）である民主的な企画・運営がポイントとなる。安倍総理が考える「市場原理」の教育は本物の教育を壊し教育格差を大きくし、いじめ・暴力・不登校を増加する教育とも言われる。※市場原理の教育は、イギリスの教育で、既に失敗をしています。行政の方々に是非知っていただきたい言葉です。</p>	<p>第8次旭川市総合計画基本計画（案）では、基本政策4「次代の担い手が、生き生きと学ぶ教育の推進」において次代を担う子どもたちが、社会の変化に対応しながら自立して生きていく力を培うため、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和の取れた子どもたちを育む質の高い教育を推進するとしており、いただきました御意見も参考にしながら、計画の着実な推進を図ってまいりたいと考えております。</p>

18	<p>3. 子ども達の教育は、学校だけでなく家庭・地域社会のあり方が重要である。ここでは地域社会との関係を大人との関係から学ぶコミュニケーションの発達も大切にしながら、生涯学習関連施設での学びの質の高さを求める科学館・博物館・旭山動物園等に於ける個人・グループ学習が人格もつくりながらの教育科学・文化・スポーツ等も含めた向上は、B問題の学力向上につながる影響も強いだけに、社会教育である行政側としても少子化に伴い、科学館などの子ども入場が激減することからの廃館・園もなる。ここに、大人の生涯学習・道民カレッジ手帳が有効であるが、これを見本・ヒントに「旭川市子どもカレッジ手帳」を27年度教育委員会と旭川地域生涯学習インストラクターの会と連携し実現した。私の所属する旭川地域生涯学習インストラクターの会と旭川フィンランド協会は年間15～20回の講座を展開している。(子ども教室・講座が5回程度実施)この活動は子どもの社会教育的な活動に於いて最高のアイデアであり、旭川市教育委員として継続しまちづくり大きな改革となる。こうほうあさひばし1ヶ月分の費用で、小中学生2万人分の手帳が渡され9年間(1年～中3)使うことになる。(詳しいことは事後担当者と話し合いたい)</p>	<p>生涯を通じて心豊かに暮らしていくためには、市民それぞれの学びたいという気持ちが叶えられ、学びにより社会全体の活性化が図られる生涯学習社会を構築していくことが重要であります。</p> <p>第8次旭川市総合計画基本計画(案)では、基本政策5「スポーツや文化に親しみ、学びを深める環境づくり」の施策1「生涯を通じた学びの振興」において、市民ニーズに対応した社会教育施設の機能の充実を図るとともに、市民が学んだ成果を地域に生かすことができる仕組みづくりや学びを通じた地域の教育力向上に取り組んでいくこととしております。</p> <p>また、基本政策4の施策3「家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進」において、地域の教育力を活用した教育活動の充実を図るため、学校・家庭・地域の連携を強化していくこととしております。</p> <p>いただきました御意見も参考にしながら、計画の着実な推進を図ってまいりたいと考えております。</p>
19	<p>4. フィンランド教育(5回講座実施、講座学習・東京1回と札幌2回)、秋田県教育と福井県教育の講座を実現する。旭川市もフィンランド教育の視察をして来ている。これらの教育から、旭川市・地域に合う実践を学び旭川市・地域の教育向上になるものは何か行政・教育委員会が、これらの教育に関心が強い人々を公募するなどして、旭川市の教育に取り入れることを検討集約し、①テーマの基本、主に子どもの教育に活かすことを望みたい。</p> <p>5. 小中・中高の一貫は、教育的には、リスクは殆どなく、プラス面が大きい現在の学区制を十分に配慮しながら、学校間競争が起きないこと、可能な限り旭川市内は同時に実施する。札幌市のような失敗に学んで慎重に全ての子どものためになることを確実に実施すること。</p>	<p>小中連携・一貫教育の推進につきましては、「9年間を見通した系統的な教育活動や小学校から中学校への円滑な接続を目指す取組を通して、子ども一人一人の学力の向上や人間形成を図る」ため、本年5月に教育委員会が「小中連携・一貫教育の基本的な考え方」を策定し、小中連携教育モデル校事業や教職員の研修会などの取組を進めております。</p> <p>これまででもフィンランド等の先進地の取組などについて調査研究しておりますことから、今後とも多くの事例等について研究しながら小中連携・一貫教育を推進してまいりたいと考えております。</p>
20	<p>6. 東光スポーツ、武道場だけでなく、剣道・レスリングと新聞に出たが、筆者は、この審議会の傍聴に出席し終わりに担当部長(課長)に多目的にすることを要望確認し帰ったものである(この項目は意見が受け入れられたこととして、参考には書きませんでした)</p>	<p>御意見の内容につきましては、参考意見とさせていただきます。</p>
21	<p>7. ものづくり大学の構想であるが、新聞を見たり、幾つかの情報からも知ったが、旭川大の将来と東海大の廃校が切り掛けで復活することから、ものづくり大学の構想が強過ぎる。旭川市長の公約でもあって基本的賛成です。ただ、この件には高校の先生・私達の仲間の関心が高い。それだけに、秋田の大学が成功したことに学ぶこと、兵庫教育大のような国際的な大学と連携を持ちながら、教育大学院なども適当と思う。私も博士号を取りたいような大学を期待したい。(兵庫教育大の資料は市長と学校教育部に渡してある)</p>	<p>高等教育機関につきましては、基本政策4「次代の担い手が、生き生きと学ぶ教育の推進」の施策1「社会で自立して生きていく力を培う教育の推進」において、地域社会に貢献するとともに、世界にも通用する人材を育む高等教育機関の検討を進めるとしております。</p> <p>今後とも関係する団体や機関などと協議を更に行い、様々な課題を整理しながら、本市や北北海道の活性化につながる大学の設置を検討してまいりたいと考えております。</p>
22	<p>8. 旭川市役所は、様々な理由から現在地で良いが、科学館を先に創設したため、当時「生涯学習ちえりあ＝札幌」と同様なものが、常磐公園付近に予定されていたはずが、現在も凍結のままと思います。旭川市としては是非とも必要です。(理由省)旭川市の現庁舎や市民公会堂を改築する様な形で、新しい市役所とも関連を持たせての改築による生涯学習あそまな(仮称)の創設を望みたい。</p>	<p>生涯学習に関する施設といたしましては、中央図書館や博物館、科学館などにおいて、それぞれ全市域を対象にした学習活動を展開しているところであり、各地域では14の公民館、4つの地区図書館において、地域の学習活動を支援するなど生涯学習を推進する体制を整えているところでもあります。</p> <p>このようなことから、以前の計画にありました生涯学習センターにつきましては、科学館機能を先行して整備</p>

		<p>している経過があり、現時点におきましては札幌市の生涯学習センター「ちえりあ」のような生涯学習に必要な機能を集約する形の施設を整備する考え方は持っていないところであります。</p>
23	<p>苦勞を求め様々なことを経験し、失敗も成功もしてきました。それだけに、アイデアは多く生み出され、筆者が企画したことは、学校単位ではどんなことも3～5年もすると成功の実現をし、いつも教員仲間も良く、生徒達も教育の理念に沿ったことには純粋に受け止め、私の歩いた四つの中・高校はどの学校でも学校づくりを成功し、全国的な実績のある学校となっています。又、学校の実践教育レポートもどの学校でも北海道代表のレポートとなり、全国教育研究会でも発表して来ました。</p> <p>そのまとめが今回の本「教育学習テキスト」です。旭川市の行政は、一般のアンケートを取り、大事にまとめるが、そして民主的な方向で進めることは、とても熱心で良いのですが、私達の様な全国的ななかで、スポーツや教育活動を戦い学びもあって来たもの達からすると、本物の教育を知っているリーダーがいないのが残念である。やむを得ない地域でもあるが旭大・東海大のリーダーが各審議会の座長であり、教育大も中学課程になってから、本物の教育を研究する教育行政や教育心理などの先生がいなく、勇気づけられたい私達教育者も淋しく思っているところです。</p>	<p>御意見の内容につきましては、参考意見とさせていただきます。</p>
24	<p>基本政策2</p> <p>生涯を通じて健康に暮らせる保健・医療の推進について、意見を述べさせていただきます。</p> <p>過日、子どもの野球少年時代にお世話になったコーチご夫妻に久々にお会いして、子どもたちの応援で楽しかった話に盛り上がりました。私の覚えているコーチはかなり太めで体格のいい方だったのですが、今回お会いして驚いたのは、お腹スッキリで別人のようだった事でした。</p> <p>理由を伺ったところ、特定健診を受けて自分の身体を考える事ができたそうです。3年前に日曜日の健診がある事を知り、支所で行う健診を受けて保健師さんに丁寧な説明を受け、糖尿病予備軍や高脂血症の前段状況にある結果に驚き一念発起出来たそうです。</p> <p>通勤は歩くようにして飲み会ではお酒の量を控えめにし、食事も野菜を多くとるなどを行ってみると、体重がわずかず減少傾向を示し体重計に上がるのも苦にならなくなったそうです。今年の健診結果も保健師さんから随分改善したと言われたそうです。</p> <p>高齢社会を迎え、誰もが健康を維持して元気でいたいと思います。そのためには自分の身体の状態がどのような状況にあるか点検する事はとても大切なことです。健康情報に惑わされず、健診を受けその結果で客観的に自分の身体の状態を理解する事ができます。知り合いのコーチのように自分の生活習慣を見直し自己管理で生活習慣病を予防する事ができると思います。最近是我家の周辺でもウォーキングやジムに通う等運動している方が増えているように感じます。また、がん検診や生活習慣病予防健診についても話題になります。このような一人一人の毎日の生活が、将来の認知症・又、生活習慣病や介護が必要な状態を予防し、ひいては健康寿命を延ばす基本となると思います。</p> <p>北海道の子どもたちは肥満傾向にある割合が高く、運動不足や食生活も関係があると思います。将来の健康状態に影響が考えられるため、子ども時代から生活習慣を</p>	<p>第8次旭川市総合計画基本計画（案）では、基本政策2「生涯を通じて健康に暮らせる保健・医療の推進」の施策1「市民の主体的な健康づくりと安心な医療の推進」において、市民一人一人が健康についての意識を高め、子どもから高齢者までがそれぞれのライフステージに応じた主体的な健康づくりを推進していくこととしております。</p> <p>御意見にありましたとおり、健康づくりの第一歩は、自らの生活習慣を見直していくことであり、そうした市民の健康づくりへの取組状況につきましては、成果指標としております「ふだんから、健康のために何か取り組んでいる市民の割合」や「特定健診受診率」、「健康寿命」によって把握しながら、健康づくりを社会全体の取組として広げてまいりたいと考えております。</p>

	<p>考えることは大切であり、ライフサイクルに応じた健康づくりは重要です。市民一人一人が「自分の健康は自分でつくる」という意識を高め疾患を予防し主体的な健康づくりを行い、職場や地域ぐるみの取り組みを推進することは大変重要なことだと思います。</p> <p>また、計画の成果指標として、「健康寿命」・「ふだんから、健康のために何か取り組んでいる市民の割合」・「特定健診受診率」について、挙げられたことは客観的な指標であり市民には取り組みの目標となると思います。市と市民が相互に協力し、総合計画の内容に掲げられた健康づくりや疾患予防について醸成される事を期待しております。</p>	
25	<p>スポーツ・レクリエーションの振興についての内、冬のスポーツであるスキーについてどう盛り上げていくかである。ここ数十年前からみて、ゲレンデのリフト待ちがないほどすいていて、スキーを楽しむ者にとっては嬉しいことではあるが、ゲレンデを管理する方にとっては収益が上がらず、運営が問題になってくる。それでは、どう具体的に展開していくかである。</p> <p>市内には、サンタプレゼントパーク、スキーカムイリンクス、そして旧伊ノ沢スキー場が今、営業をしている。その一つとして、スキーカムイリンクスは、とても魅力的なスキー場であると思っている。今、このゲレンデのハード面は、かなり充実しているようだが、もう一步踏み込むと、スノーボードを滑る人達にとっては、もうすこし満足できるコース作りが必要である。ハーフパイプができるコース、ボードで滑るゲレンデ以外のコースなど出来れば、楽しいと思えることが不可欠である。次にソフト面では、宣伝不足にあると考えられる。もっと内外に向けて宣伝する。スポーツ雑誌や旅行会社などその趣旨を説明し取り上げてもらう営業努力をする。又、ゲレンデハウスのレストランの充実も必要であると考えている。</p> <p>これだけで、スキー人口が急増するとは考えていないが、この立地条件の良い場所を利用するノウハウを考えれば、今以上に活気あるスキー場になるのではないのでしょうか。</p>	<p>本市では、これまで、全国的な知名度を持つ旭山動物園や豊かな自然や食等を生かし、様々な観光振興を図ってきているところであり、近年、観光客入込数や観光客宿泊延数が増加傾向にありますが、夏季に比べ冬季の観光客数が少ない状況となっております。</p> <p>こうした現状を踏まえ、第8次旭川市総合計画基本計画（案）におきましても、基本政策7の中で、「本市固有の魅力を磨き上げ、冬季観光客の増加に向けた観光資源の活用や開発とともに、上川中部圏域の連携を深め、国内外の多様なニーズに対応した四季を通じて楽しめる滞在交流型観光の確立に取り組みます。」と示しております。</p> <p>現在、カムイスキーリンクスにおきましては、国内外からスキーやスノーボードを楽しむために訪れる方々に満足いただけますよう、ゴンドラ・リフトのリニューアルを進めております。</p> <p>今後につきましては、御意見を参考にスキー場の魅力向上や、プロモーションの充実への取組を進めることにより、冬季のスポーツや観光の振興を図ってまいりたいと考えております。</p>
26	<p>「第8次旭川市総合計画 基本計画（案）」（以下、本案）の冒頭にもあるように、人口減少が大きな課題であり、旭川で育った学生や若者の約半分と言われる流出を防止しつつ、まちの未来を担う「こども」をいかにして育むか、そして、まちの賑わいと活力を生み出し、地域主体のまちづくりへといかにして導くかを考えた時、次に述べる方策が必要と考え、本案に盛り込まれることを期待します。</p> <p>小・中学校での「キャリア教育」の推進</p> <p>「地元に残って働き、地元を盛り上げ活気ある街にしていこう！」と考える学生や若者を育てるためには、小・中学校段階から、地元を知り、地元の人達と交わり、地元を肌で感じる「キャリア教育」が必要であると考えます。しかし、様々な課題から、旭川市の「キャリア教育」の取組は低調となっているのが現状です。</p> <p>「キャリア教育」の定義は、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」であり、まさに、社会で自立して生きていく力を培う教育（基本政策4－施策1 社会で自立して生きていく力を培う教育の推進）です。</p> <p>さらに、「若者に起こる諸問題（就職率の低下や離職</p>	<p>第8次旭川市総合計画基本計画（案）では、基本政策4「次代の担い手が、生き生きと学ぶ教育の推進」において次代を担う子どもたちが、社会の変化に対応しながら自立して生きていく力を培うため、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和の取れた子どもたちを育む質の高い教育を推進するとしております。</p> <p>これまで保護者や地域住民等の理解と参画を得た信頼される学校づくりを推進してきておりますが、施策3「家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進」にありますように、今後とも学校支援ボランティアの拡充を図るとともに、企業との連携や地域人材の活用による職場体験や職業講話などを充実し、キャリア教育の推進に努めてまいります。</p>

	<p>率の増加等)への対策」,「学習意欲の向上や学力の向上」,「グローバル化の感覚を持つ人材育成」,「ものづくり立国・日本の技術伝承や後継者育成」等々からも重要かつ効果的な取組であると考えられており,まちの未来を担う「こども」を育む上で,積極的に取り組むべきと考えます。</p> <p>「キャリア教育」とひと言で言っても,発達段階によって違いがあったり,同じ発達段階でも,学校内で行う「キャリア教育」から学校外で行う「キャリア教育」まで,その内容は多岐に渡ります。具体的には,次のような小・中学校での「キャリア教育」を推進することが必要と考えます。</p>	
27	<p>(1) 地場産業や地元の会社・店舗・工場等を利用した社会見学(小学校)や職業体験学習(中学校)を数多く行う。</p> <p>現在も社会見学や職業体験学習を行っている小・中学校は多数ありますが,以下のような問題点があります。</p> <p>① 実施日数が短い(職業体験学習の実施平均日数:北海道～1.7日。 <参考例:兵庫県～5.1日。富山県・滋賀県・広島県～5.0日。>)ことから,体験の多くがお客さん扱いとなってしまう,本当の意味での体験とはならず,効果的な取組となっていない。</p> <p>② 学校が多忙であったり,教員が地元のことを知らなかったり,さらには受け入れ先を探すための支援体制が整っていなかったりと,様々な要因から,地場産業や地元の優良企業や店舗等の活用ができていない。</p> <p><参考例> 地場産業を生かした職業体験学習と技術科の授業(5日間)</p> <p>日本の家具五大生産地の1つである旭川は,家具製造業をはじめとする木材加工の企業が多数あり,以前より,地元産業の概要を伝えることや,後継者育成,ものづくり技術伝承の観点から,教育機関との連携が強く求められていました。</p> <p>そこで,中学校技術科の木材加工の実習を,地場産業である家具製造業の会社で行うことで,地場産業について知る機会になると同時に,地元で育まれた技術の一端を,地元の次世代を担う子どもたちに伝えることができると考えました。また,単なる技術科の授業とするだけでなく,キャリア教育の一環である職業体験学習とすることで,地元の未来を担う子どもたちに,仕事のやりがいや楽しさ,厳しさや辛さを伝えることができ,社会的・職業的自立に向けたキャリア教育になるとも考えました。</p> <p>(「第4回キャリア教育アワード」エントリー事例集 旭川家具製造業「株式会社 匠工芸」より)</p> <p>(2) 地元で頑張っている人の話を聴く機会を増やす。</p> <p>学校に講師を招き,子どもたちに話を聴く機会を設けるというのは,中学校や高校の「キャリア教育」でよく行われていることの1つです。しかしその多くは,職業体験学習に向けたマナー講習等が多く,地元を盛り上げるために頑張っている人の話を聴く機会を設けているような学校は少ないのが現状です。小学校ともなると,そのような機会はより一層少なくなります。</p> <p>(3) 地元の問題について学び考える機会を増やす。</p> <p>自分が生活している地元でどのような問題が存在するのかを知り,その問題を解決するための方策を考えるような機会は,現在の学校教育ではほとんど行われてい</p>	<p>児童生徒が社会で自立して生きていくためには,子どもたちが夢や希望を育み,望ましい職業観,勤労観を育てるキャリア教育を一層充実する必要があると認識しており,児童生徒が発達段階に応じて必要な知識を身に付け,将来の進路や職業について主体的に考えることができるよう,地域の企業や職業への一層の理解と協力を求める取組が必要であると考えております。</p>

	<p>ません。旭川市ではこれまで、首長との対談を行ったり、子ども議会を開催したり、首長への手紙を書いたりなどの企画を行ってはきましたが、残念ながら、一部の子どもしか参加できていないのが現状で、多くの子ども達が地元の問題について学ぶと言うほどの機会にはなっていない。</p> <p>地元の問題を知り、解決の方策を考える過程で、「(2) 地元で頑張っている人の話を聴く機会を増やす。」などの工夫も生まれてくると思いますし、何よりも、地元を大切に思う気持ちが育まれると考えます。</p> <p>以上のような「キャリア教育」を、小・中学校段階から積極的に推進することによって、地元を知り、地元の人達と交わり、地元を肌で感じる機会が増え、「地元に残って働き、地元を盛り上げ活気ある街にしていこう!」と考える若者が育つと考えます。そして、人口減少対策に一定の効果をもたらすことが期待できます。</p> <p>さらに、地場産業や地元の会社・商店・工場等での体験を切っ掛けとした後継者育成(基本政策6-施策2 地域産業の持続的発展)へとつながったり、子ども達の学校外での活動が増えることによる商店街等の様々な施設の活用(基本政策7-施策1 まちの賑わいの創出)も期待できます。そして何よりも、産官学および地元住民が連携して、旭川市の未来を担う「こども」を育てるという取組が、地域の連帯感を生み旭川市を活性化すること(基本政策11-施策2 地域主体のまちづくり)につながると考えます。</p> <p>平成27年1月に、北海道より出された「本道における人口減少問題に対する取組指針(素案)」の中で、1次産業を基盤とする市町村の人口減少率が低いとのデータが示されました。</p> <p>1次産業に従事している家庭では、小さな頃から親の働く姿を間近で見て、時には手伝いをする中で、1次産業の素晴らしさを肌で感じ、やりがいを見だし、後を継いでいくという、家庭の中で自然発生的に行われている「キャリア教育」の結果であると考えます。</p> <p>しかし、旭川市の子どもも多くは、親の働く姿を間近で見る機会も少なく、それと同時に、働くことの大切さや尊さを感じることも少ないのが現状です。さらに地場産業や地元の会社・店舗の素晴らしさを肌で感じる機会も多いとは言えず、テレビや雑誌、インターネット等を通じて東京や札幌など大都市の情報が強調される中で、地元の素晴らしさに触れることなく・感じることなく地元を離れてしまいます。</p>	
28	<p>「キャリア教育」を推進するためには様々な課題が存在します。旭川市の現状は、その課題をいかに克服するかというよりも、「キャリア教育」を積極的に進めない(進めることのできない)理由にしまっているという残念な状況です。その課題を以下に列挙しますが、それらを解決するための方策を編みだしている自治体・教育委員会・学校は全国に多数存在することも付け加えておきます。</p> <p><課題1> 時間数の不足</p> <p>「キャリア教育」を積極的に進めない(進めることのできない)理由の1つに時間数確保の課題を挙げる学校が多いという実態があります。現在の学校は、学習指導要領で定められた内容や各種行事、〇〇教育(環境教育、食育、性教育、等々)と名の付く教育の実施を求められたりもすることから、1つの取組にかけられる時間数は制限されることとなります。そんな中で「キャリア教育」</p>	御意見の内容につきましては、参考意見とさせていただきます。

をより一層推進することは難しいとの声が上がります。しかし、先に示した「地場産業を生かした職業体験学習と技術科の授業（5日間）」のように、様々な工夫で時間数を確保している学校は全国に多数存在します。

<課題2> 多忙な学校（教員）の現状

「学校（教員）は多忙である。」というのは、今に始まったことではありませんが、<課題1>で述べたような様々な取組を求められたり、多様化する児童・生徒へのきめ細やかな対応が求められたり、さらには、保護者対応などの難しさ、少年団や部活動の指導等も手伝って、学校（教員）の多忙さに拍車がかかっているという現状も否認しません。そんな中で、新たな取り組みに対して積極的な気持ちになれないという実態があります。これについても、学校支援地域本部事業等を活用して、キャリア教育コーディネーター等を各地域や各学校に配置するなどし、「キャリア教育」を推進することによる教員の負担増を抑える工夫をしている自治体は多数存在します。

<課題3> 教員の認識

教員は、自分たちが教える若者達が、今現在、どのような困難に直面しているかを本当の意味で認識しておらず、それ故、「キャリア教育」に対する必要性も理解していないという実態があります。特に、小・中学校の教員は、<課題2>の多忙な現状もあり、小学校であれば中学校へ、中学校であれば高等学校へと送り出すことで精一杯となってしまう、社会的・職業的な自立という観点に立った、将来を見据えての「キャリア教育」という考えにはなかなか至りません。

また、短期間（管理職で2～3年、一般教員で4～6年）で異動するため、地元でどのような地場産業や会社・店舗・工場等があり、どのような人達が地元を盛り上げるために頑張っているのかを知らない場合が多く、さらには、地元でどのような問題が生じているかという認識も低いという現状があります。

<課題4> 開かれていない学校

旭川市の学校教育では、長年、「地域に開かれた学校」を謳っており、本案の中でも、（基本政策4－施策3 家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進）として取り上げられています。今現在、全国的に展開されているコミュニティスクールの導入も調査・研究段階となっており、「地域に開かれた学校」に向けた施策は後手を踏んでいると言わざるを得ません。

「キャリア教育」を推進するためには、地域の人と連携したり、地場産業や会社・商店・工場等と連携することが必要不可欠であり、学校が積極的に地域に出て行くことや、地域の人を積極的に受け入れることが必要となります。しかし、学校外と連携するということは、そのための準備や指導が必要となり負担感が増すことから、多くの学校では積極的に連携しようとの機運とはなっておらず、今後、「キャリア教育」を推進するためには、改めて、「地域に開かれた学校」の在り方を模索することも必要と考えます。

<課題5> 支援体制の未整備

「キャリア教育」を強力的に推進していくことになること、先にも述べたとおり、学校と学校外（地域、企業、店舗・工場等）との連携が必要になります。その連携を学校のみで行おうとすると、学校（教員）の負担感が増すため、キャリア教育を強力的に推進している都府県・市町村では、自治体や教育委員会が中心となった支援体

	<p>制を整えています。また、国政レベルに於いても支援体制を整えることの重要性を唱えてもいます。</p> <p>旭川市では、このような支援体制が確立されていないことから、「キャリア教育」を推進する際には、この点についての整備も必要と考えます。</p> <p>以上の課題の他にも、その地域や学校によって抱える課題もあるかと思いますが、改めて【小・中学校での「キャリア教育」の推進】について御検討いただきたいとします。</p> <p>最後になりますが、本案の（基本政策４－施策１ 社会で自立して生きていく力を培う教育の推進）の中で述べられている「少人数学級の推進」、「小中連携の促進」、「子ども達への支援や各種相談体制等の充実」は、大切な教育施策であり、今後も推進・充実させていくことの必要性は理解しながらも、【社会で自立して生きていく力を培う教育】との結びつきは弱いというのが率直な感想です。</p> <p><資料> キャリア教育と旭川市の現状</p> <p>若者の就職率の低下や３年離職率の増加、若年無業者や引きこもりの増加、子どもや若者の変化（コミュニケーション能力の不足など）、雇用形態の変化（非正規雇用率の増加 など）等々への対応から、平成１１年（１９９９年）以降、国政において「キャリア教育」の必要性が叫ばれるようになりました。その後、「教育振興基本計画（第１期）」、「教育振興基本計画（第２期）」において「キャリア教育」の重要性や施策の必要性が述べられるなど、今尚、小・中学校段階での「キャリア教育」を強力に推進している都府県・市町村は多々あります。</p> <p>「キャリア教育」で一定の成果を上げている神戸市（兵庫県）、名護市（沖縄県）、上越市（新潟県）、横須賀市（神奈川県）、杉並区（東京都）等では、自治体が「キャリア教育」の重要性を認識し、地域住民や地元産業界を巻き込んでの「産官学および地元住民が連携したキャリア教育」となっていることから、国政レベルにおいても、自治体が中心となった「キャリア教育」の重要性が唱えられています。</p> <p>北海道の小・中学校段階での「キャリア教育」の実情は、平成１７～１９年度の３カ年計画で「キャリア教育実践プロジェクト」が行われたりもしましたが、その後は、各市町村、各教育委員会、各学校によって取組状況に大きな差異が見られ、多くの小・中学校で「キャリア教育」と名の付く取組こそ行われてはいますが、全国的な取組状況と比較すると低調と言わざるを得ません。</p> <p>そんな中、旭川市の取組状況は、各学校における取組こそ行われてはいるものの、自治体や教育委員会が中心となった「キャリア教育」は行われてはいませんし、旭川市教育研究会や上川研修センターにおける研究も行われてはならず、北海道の中でも特に低調と言わざるを得ません。</p>	
29	<p>２７年１０月２８日 フィール旭川７Ｆで行われた説明会に初めて参加させて頂いた者ですが、旭川市の現状に日頃憂いを感じている一市民として恐縮ながら、率直な意見を寄与させて頂きます。受け取る側の解釈にもよりますが、決して政治的イデオロギーや行政批判ではないことを、御理解頂ければ幸いです。</p> <p>まず、第８次旭川市総合計画 基本計画(案)に対する募集説明会にもかかわらず、１０名程度の市民参加者数（前回のパブリックコメントの寄与は１４名）は、担当課としての評価はどのようなもののでしょうか？</p>	<p>市民説明会に御参加いただき、ありがとうございました。</p> <p>この度の意見提出手続に当たり、市民の皆様には第８次旭川市総合計画基本計画（案）についての内容を分かりやすくお伝えするための説明会を開催いたしましたところ、第１回目の１０月２８日は１２名の市民の参加をいただきました。この市民説明会につきましては広報誌「あさひばし」やホームページなどにより周知をしたほか、第２回目の１０月３０日は土曜日に開催するなどの工夫を行いましたが、残念ながら参加者数が少なかった</p>

	<p>担当課長の会場での回答では「ホームページ、広報を通して周知をしている」内容でしたが、であれば34万人都市での市民の関心度を指しているともいえるでしょう。</p> <p>合意形成をとりつけた既成事実が欲しいのであれば、致し方ないのですが計画案を拝読してさらに深まったことは確かです。</p> <p>内容全体から具体性、現実味が伝わらないのです。</p> <p>メニュー構成、受けを狙ったキャッチコピーは市町村大会に出品して入賞を狙うには、優秀かもしれません。ただし目標像、現状と課題、重点施策の実現可能性を問われたとき予算規模、期限設定がなければ机上の空論であり、戦略切り口や人脈ネットワークに触れなければ民間事業所であれば、渡されても迷惑な話です。</p> <p>さらに、語尾には、必要です。図ります。進めます。努めます。など義務を正当化するような表現、根拠のない決意表明を感じられる表現は、行政と市民の温度差を感じるの、私だけではないということを痛感していただければ幸いです。</p>	<p>ところでありますことから、今後更に手法等について検討してまいりたいと考えております。</p> <p>本市では、昭和31年度に策定した「大旭川建設計画」以来、「第7次旭川市総合計画（平成18年度～平成27年度）」まで7次にわたり市政運営の長期的な方向を示す計画を策定し、総合的、計画的にまちづくりを進めてきたところであります。</p> <p>第6次計画までは計画期間内に実施すべき事業を明確にすることを中心としておりましたが、第7次計画からは「どのようなまちにするか」という目標を明示し、その実現に向けて、最適な手段であります施策・事業を創意と工夫によって構築していく「目標中心型」の計画としております。</p> <p>具体的には、今後、策定を予定しております「推進計画」において、総合計画で示す基本目標、基本政策、重点施策等を踏まえ、これらの目標達成に向けた施策を着実に進めていくための取組や事業を明らかにしていくこととなります。</p> <p>また、本市の財政状況は、今後、少子高齢化・人口減少の進行に伴って厳しさを増していくことも想定されますことから、総合計画の推進に当たりましては、これまで以上に選択と集中を図りつつ、事業や取組の必要性、有効性、緊急性等の様々な視点から検討を行うとともに、行財政改革推進プログラムの見直しを行い、4年内の財政収支見通しを立て、その上で、毎年度の財政状況や財源確保の見通しなどを十分に踏まえ、優先すべき事業を選択しながら、総合計画の着実な推進を図ってまいります。</p>
30	<p>さて、本論に入りますが、現状と課題に共通して言えることは人口減少、高齢化であることは誰もが判り得ることです。しかし、社会経済現象を将来の計画倒れの理由付けでは、市民として、「計画案という行政仕事のために納税しているのか？」という感が漂うでしょう。「世界にきらめく、いきいき旭川」という魅力ある都市づくりを謳う以上、現状の財政・実行期限を打ち出し、全国から注目される目玉となる緊急政策を掲げる姿勢を示して欲しいと願います。当然政策も絞られてくるはずですが。</p> <p>若者の地元離れを食い止めるには、何が必要か、何から始めるか、どういう体制で挑むか、から取り組むだけでもオール旭川の空気が生まれてくるのではないのでしょうか。</p> <p>私は、東京に22年在住していました。ここ4～5年は上京する機会も増え、旭川の宣伝をしても北海道第2の都市が、説得力のない話題に消えてしまいます。札幌その他の町のひとつに過ぎないのです。これが現状です。限られた予算を未来都市づくりのために、どのように有効に投資するか。それは、箱物ではなく人材であるはずで。地元の人材に国内外のブランドないしは財界の協力を得られる人材はいないでしょう。であれば、国内外の強力な人脈ネットワーク持っている著名人、技術者、専門家を招聘するのが近道と考えます。私なりに次世代に繋がる活動を続けようと思いますが、必要な情報提供は行政にも届けたいと思っています。</p> <p>憂いをわかる人、すなわち優しい人に届きますように・・・検討します。努めます。の回答コメントは必要ございませんのでご容赦願います。</p>	<p>御意見にありますように、目指す都市像「世界にきらめく いきいき旭川 ～笑顔と自然あふれる 北の拠点～」の実現のためには、将来のまちづくりを担う子どもたちへの教育などの人づくりはもとより、地域産業を支える人材育成などを積極的に進めていくことが重要であると考えております。</p> <p>また、地域経済の活性化のためには、地場産品のブランド化や高付加価値化を進め、競争力の向上や国内外への販路を拡大し、域外からの資金獲得を図るとともに、ここ数年、実績を重ねてきている企業誘致や観光振興により、地域への経済的な波及効果や雇用機会の拡大を図っていくなど、地域の内外に目を向けた経済対策を講じていくことが重要であり、そのための人材育成や外部からの人材活用などを進めてまいりたいと考えております。</p>